アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　９：００～１７：００　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール　0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
（https://www.yupiteru.co.jp/）

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2464-B
ver 1.2

SUPER NIGHT

Yupiteru

2カメラドライブレコーダー

SN-TW7690d

取扱説明書 12V車専用

安全運転サポート機能 搭載

・前方車発進警告
・車線逸脱警告
・前方車接近警告
・後方異常接近記録 / 警告

画面自動オフ機能 搭載

無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。
（初期値：30 秒後）



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。（https://www.yupiteru.co.jp/）

⚠ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

⚠ 電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

⚠ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
もしも事故が起きたら… …… 10
SDカードをフォーマットする …… 12

基礎知識

各部の名称と働き …… 14
1. 付属品 …… 16
2. 別売品 …… 17
3. 付属品・別売品の購入について …… 17
SDカードの取り外し/装着 …… 18
1. SDカードを本体から取り外す …… 18
2. SDカードを本体へ装着する …… 18
動画記録モード …… 19
録画について …… 21
1. 常時録画(通常録画、タイムラプス、動体検知記録) … 23
2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、後方異常接近記録) …… 24
駐車監視モードについて …… 26
1. 外部センサーを使用しない場合 …… 26
2. 外部センサーを使用する場合 …… 28
3. 警報機能 …… 31
4. 履歴表示 …… 31
上書きモード …… 32
安全運転サポート機能について …… 34
1. 前方車発進警告 …… 34
2. 車線逸脱警告 …… 35
3. 前方車接近警告 …… 35
4. 後方異常接近記録/警告 …… 36
メンテナンスについて …… 37
初期値について …… 38

すぐに使う

本機の取り付け …… 39
1. フロントカメラユニットを取り付ける …… 41
2. リアカメラユニットを取り付ける …… 44
3. リアカメラケーブルを接続する …… 46
4. 電源を接続する …… 47
別売品の取り付け …… 50
1. シガープラグコード(OP-ED0015)の接続方法 … 50
2. マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続方法 … 52
3. 接近検知マイクロ波センサー(OP-MDS1)の接続方法 …… 56
電源ON ～ OFFまでの手順 …… 58
1. 電源ON(録画を開始する) …… 58
2. 録画を停止する …… 59
3. 録画を再開する …… 59
4. ワンタッチ記録をする …… 60
5. 音声録音をON/OFFする …… 60
6. 画面表示を切り替える …… 61
7. 電源OFF(録画を終了する) …… 61
駐車監視を行う …… 62
1. 駐車監視の準備 …… 62
2. 駐車監視を行う(開始/終了) …… 63

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法 …… 64
1. 設定メニューを表示する …… 64
2. 録画を再開する …… 64
設定メニュー …… 65
基準位置初期化 …… 69
1. 基準位置初期化する …… 69
SD初期化(フォーマット) …… 70
1. SDカードをフォーマットする …… 70

再生する

再生モードの表示・再生方法 …… 71
1. 再生モードを表示する …… 71
2. 本機で録画ファイルを再生する …… 71
3. 録画を再開する …… 73
再生モード …… 74
録画ファイルの消去 …… 76
1. 録画ファイルを消去する …… 76

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する …… 78

1. 専用ビューアソフトをインストールする …78
2. 専用ビューアソフトを起動する ……78
3. 録画ファイルを再生する ……78
4. 専用ビューアソフトを終了する ……79

専用ビューアソフト …… 80

1. 専用ビューアソフトの画面について ……80

録画ファイルの読み出しについて … 83

1. 専用ビューアソフトを使用せずに
   録画ファイルを再生する ……84

その他

こんなときは …… 85

故障かな？と思ったら …… 87

仕 様 …… 90

microSDカード対応一覧表…… 92

1. 録画時間の目安 ……92
2. イベント記録の最大記録件数 ……92

アフターサービス …… 裏表紙

1. お客様ご相談センター …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

必ず実行していただく「強制」内容です。

してはいけない「禁止」内容です。

気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ 裏表紙「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



本機を次のような場所に保管しないでください。

・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火、やけどの原因となります。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



⃠ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⃠ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

⃠ 本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注 意

⃠ 結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⃠ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

⃠ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

⃠ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



⃠ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて(共通)

⚠ 警 告

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注 意

❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。

❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

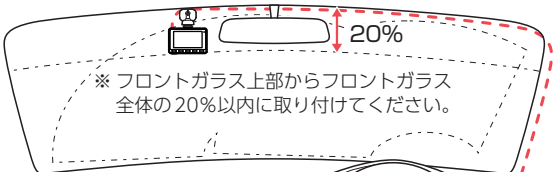
❗ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警 告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下の縁から15㎝以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警 告

リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。

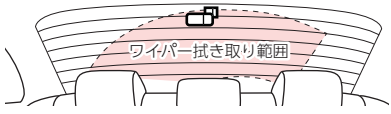
付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。

両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

⚠ 警 告

電源コードは確実に挿し込んでください。

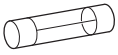
接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

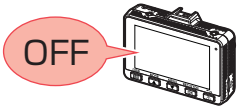
故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠注 意

⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。



⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠警 告

❗ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

🚫 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

🚫 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

🚫 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠注 意

❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

🚫 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

🚫 ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ SDカードに関する注意

・カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自システムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
・SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ GPS測位に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 電源直結コードに関する注意

・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
・電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。
・本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。
・使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

■ 液晶パネルに関する注意

・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 駐車監視モードについて

・整備や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両停止(ACC OFF)後、設定によっては駐車監視が行われる旨をお伝えください。
・車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
・オフタイマーの設定に関係なく、使用状況(接続状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。

もしも事故が起きたら…

事故発生



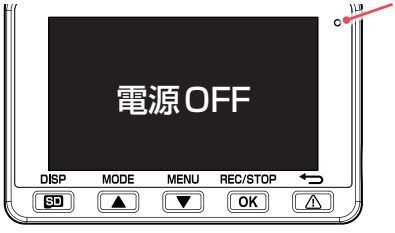
記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

駐車監視モードなし(自動駐車モード切替：OFF)

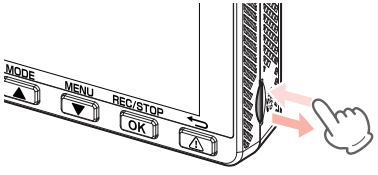
1 車両を停止(ACC OFF)する



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

※完全に電源OFFする前にSDカードを取り出した場合、「SDカードが挿入されていません」のメッセージと音声でお知らせします。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

＜保管場所について＞

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。



駐車監視モードあり（自動駐車モード切替：ON）

1 車両を停止（ACC OFF）する



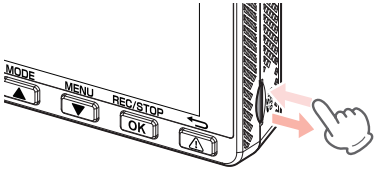
※音声／移行メッセージをご確認ください。

2 駐車監視モードに移行したら OK ボタンを３秒以上長押しする



電源OFF後、電源ランプが３秒以上消灯したことを確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

保管場所については ☛ P.10 を参照してください。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマットするの？

- 付属品以外のSDカードを使用するとき(初回のみ)
- フロントカメラカメラ解像度を変更するとき(☛ P.65)
- 「SDカードエラー」を表示しているとき(☛ P.85)

※フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて消去されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
※エラーメッセージ(☛ P.85)が表示されている場合は、いずれかのボタンを押してからフォーマットを行ってください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

「SD ボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動(ACC ON)する

録画を開始します。
- 電源ランプ(赤)が点灯
- 記録時間を表示



※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードエラーです」と音声でお知らせし、フォーマット画面(3)を表示します。

2 OK ボタンを押す

録画を停止します。
- 電源ランプ(緑)が点灯
- 記録時間が非表示



3 SD ボタンを３秒以上長押しする

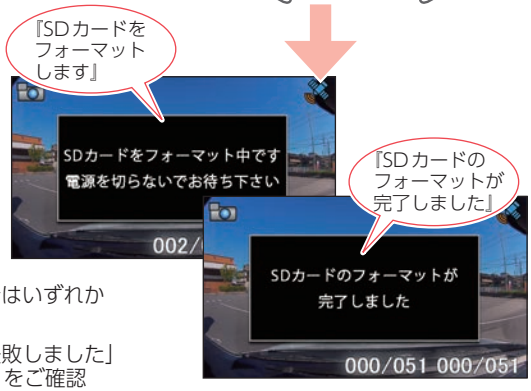
フォーマット画面を表示します。



4 [実行]を選択し、OK ボタンを押す

フォーマットを開始します。





※メッセージ表示を解除する場合はいずれかのボタンを押してください。

※「SDカードのフォーマットに失敗しました」と表示される場合は、☛ P.85をご確認ください。

5 OK ボタンを押す

録画を開始します。

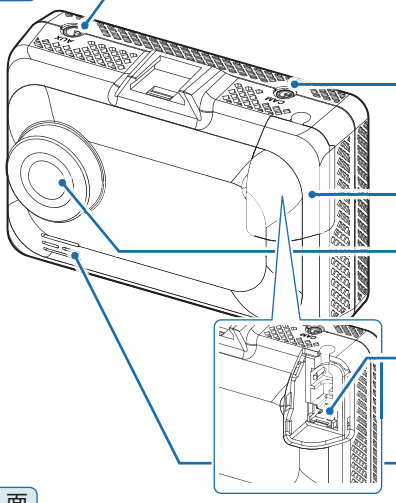


設定メニューからフォーマットする場合は、☛ P.70を参照ください。

各部の名称と働き

■ フロントカメラユニット(本体)

正面



AUX端子
別売品の接近検知マイクロ波センサー(OP-MDS1)を接続します。

カメラジャック
付属のリアカメラケーブルを接続します。
(☛ P.46)

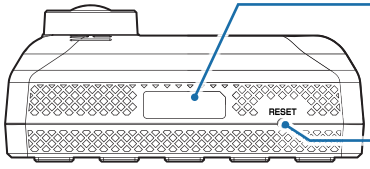
電源カバー

レンズ
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

入力端子(DC12V)
付属の電源直結コードを接続します。
(☛ P.41)

スピーカー
録画ファイルの音声などが出ます。

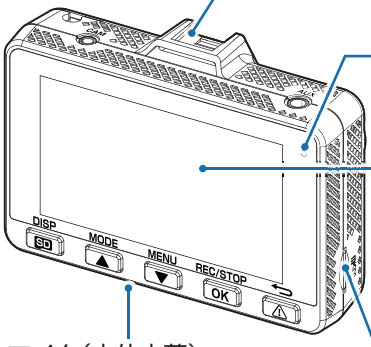
下面



シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。
(☛ P.15)

背面



ジョイントレール
付属のブラケットを取り付けます。

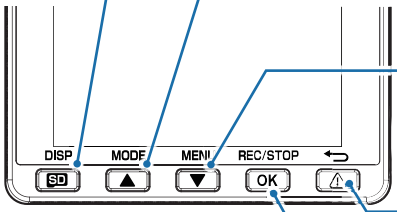
電源ランプ(赤、緑)
本体の動作状態をランプでお知らせします。
(☛ P.58)

フルカラー TFT液晶ディスプレイ 3.0インチ
各設定画面を表示したり、記録中の映像や記録後の映像を確認できます。
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

マイク(本体内蔵)
周辺の音を収集します。

microSDカード挿入口
※ microSDカードがあらかじめ装着されています。

操作ボタン



SD ボタン(DISP)
映像を切り替えます。(☛ P.61)
録画停止中に3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(☛ P.12)

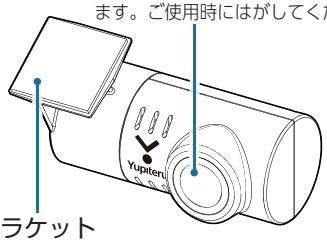
▲ ボタン(MODE)
再生モードを表示します。(☛ P.71)

▼ ボタン(MENU)
設定メニューを表示します。(☛ P.64)
録画中に3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.60)

⚠ ボタン(記録ボタン)
ワンタッチ記録します。(☛ P.25、60)

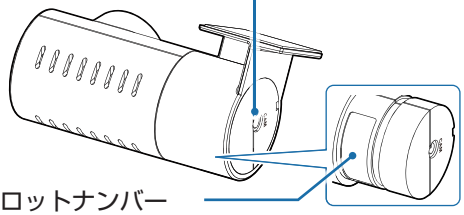
OK ボタン(REC/STOP)
録画を開始/停止します。(☛ P.58)
録画中に3秒以上長押しでタイムラプスへ切り替えます。(☛ P.23)

■ リアカメラユニット



レンズ
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

ブラケット
※ あらかじめ装着されています。



カメラジャック
付属のリアカメラケーブルを接続します。(☛ P.46)

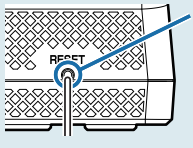
ロットナンバー
製造番号が印刷されています。

■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない
ボタンを押しても反応しない

こんなときは

先の細いもので リセットボタン を押して再起動してください。



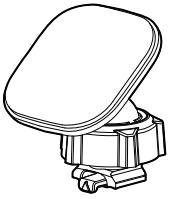
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下面のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

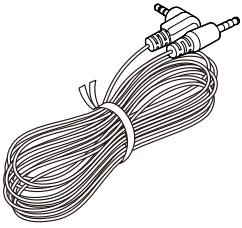
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ フロントカメラ用ブラケット
(☛ P.41) ……1

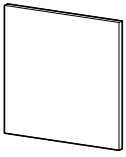


※ 両面テープが貼り付けてあります。

■ リアカメラケーブル(約9m)
(☛ P.46) ……1

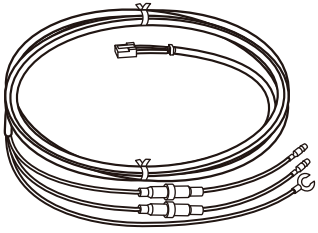


■ リアカメラ用両面テープ ……1



(20mm × 20mm)

■ +B/ACC電源直結コード(約4m)
(12V車専用)(☛ P.47) …… 1



■ microSDカード(32GB) …… 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 保証書 …… 1

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ 接近検知マイクロ波センサー※1
OP-MDS1

マイクロ波センサーにより車両周辺を監視し不審な動きを検出。従来の動体検知モードに比べ、より高度な駐車監視を実現します。不審な時のみ起動・記録できるので、バッテリー負荷低減にも貢献します。(☛ P.56)
[特許第5316995号]

※ 消費電力：0.084W(省電力時＋OP-MDS1)

■ 専用microSDカード
OP-SD32M (32GB)
OP-SD64M (64GB)

■ シガープラグコード(約4m)
OP-ED0015 (12V車専用)

付属の電源直結コードを使わずにシガーソケットから電源をとることができます。(☛ P.50)

■ マルチバッテリー
OP-MB4000Ⅱ (12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(☛ P.52)

本体…… 1
入力コード…… 1
出力コード…… 1
面ファスナー…… 1

※1：本書では特にことわりのない場合、「外部センサー」と表記しています。

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注 意

- 電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

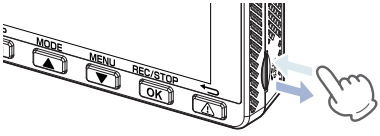
1. SDカードを本体から取り外す

駐車監視モードを行う設定(自動駐車モード切替:ON)の場合は、車両停止(ACC OFF)後、OKボタンを3秒以上長押しして電源OFFしてください。(☛ P.11)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

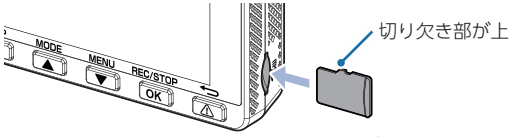
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する

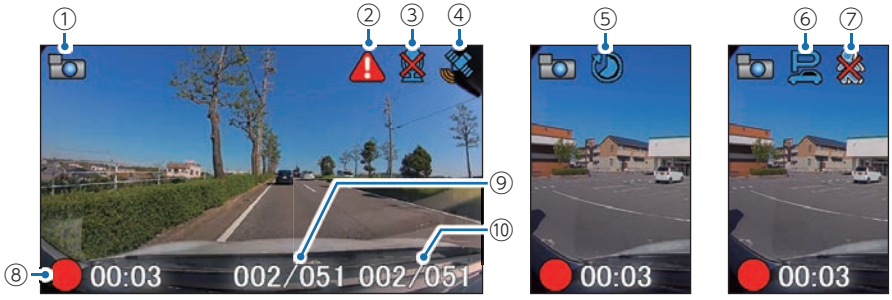


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説　明
①	リアカメラ接続アイコン	リアカメラの接続状態を表示します。 ：接続時、：未接続時
②	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
③	音声録音OFFアイコン	音声録音が[OFF]の時に表示します。
④	GPSアイコン※1	GPSの受信状態を表示します。：測位時、：非測位時
⑤	タイムラプスアイコン	タイムラプス中に表示します。(※駐車監視モード時は除く)
⑥	駐車監視アイコン	駐車監視モード中に表示します。
⑦	動体検知無効アイコン	動体検知を無効化している場合に表示します。
⑧	記録時間※2※3	録画中に現在の録画時間を表示します。
⑨	イベント記録件数※4	現在のイベント記録(Gセンサー記録、後方異常接近記録)件数/最大記録件数を表示します。
⑩	ワンタッチ記録件数※4	現在のワンタッチ記録件数/最大記録件数を表示します。

※1：駐車監視モード中は非表示になります。
※2：タイムラプス中はフレームレートは1コマ/秒(1FPS)で固定になり、1ファイル単位が約14分になります。
※3：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例　00：29→00：00→00：01…)
※4：1件につき2ファイル(フロント+リア)移動した場合。

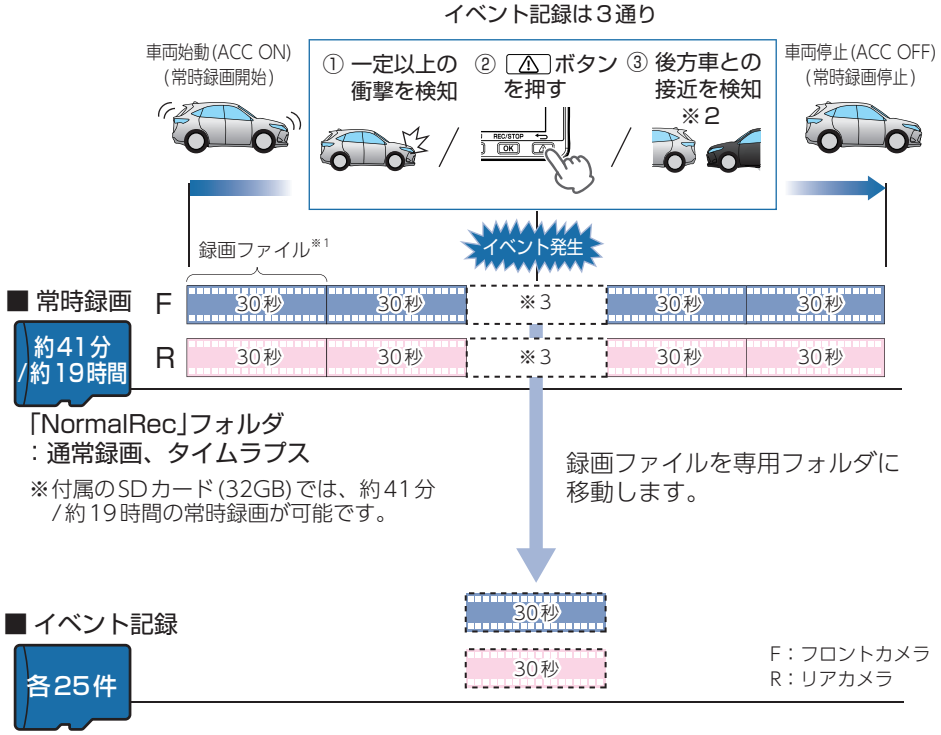
■ 動画記録モード時のボタン機能

ボタン	機　能	
SD ボタン	短押し	映像を切り替えます。(☛ P.61)
	長押し	録画停止中に3秒以上長押しでフォーマットを開始する画面へ移行します。(☛ P.12)
▲ ボタン	短押し	再生モードを表示します。(☛ P.71)
▼ ボタン	短押し	設定メニューを表示します。(☛ P.64)
	長押し	3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.60)
OK ボタン	短押し	録画を開始/停止します。
	長押し	録画中に3秒以上長押しでタイムラプスへ切り替えます。(☛ P.23)
⚠ ボタン	短押し	録画中に押すとワンタッチ記録を行います。(☛ P.60)

録画について

記録方法は、常時録画(通常録画/タイムラプス/動体検知記録)とイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録/後方異常接近記録)があります。

例：通常時　※駐車監視モード時の動作は ☛ P.26 を参照ください。



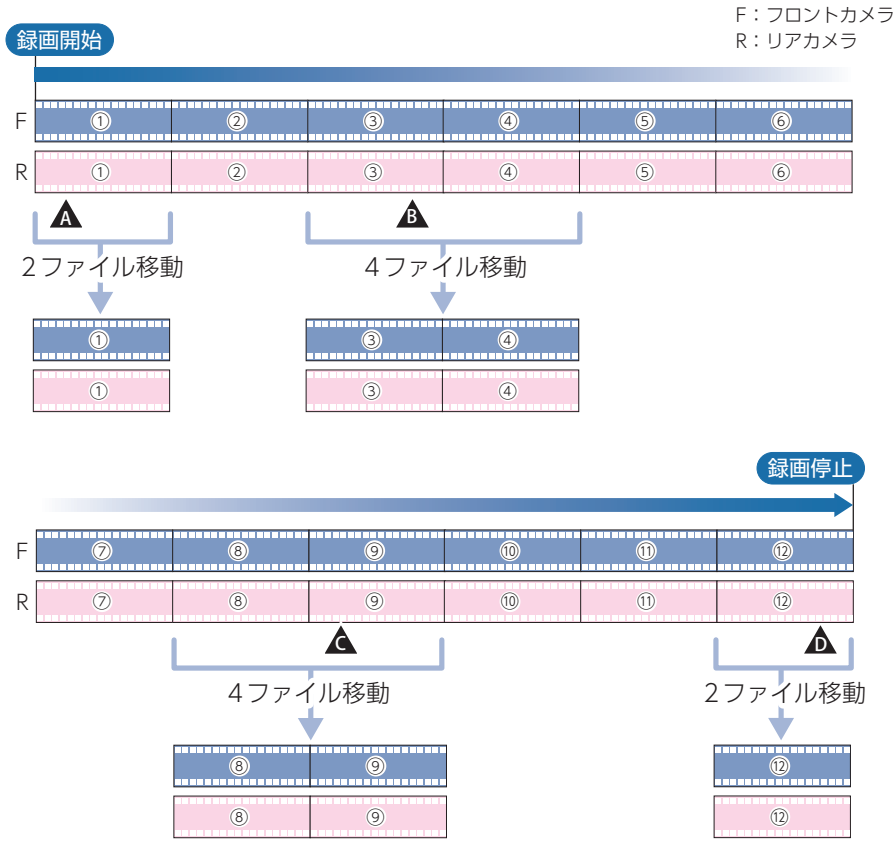
※1：タイムラプス中は約14分の映像が1ファイルになります。(☛ P.23)

※2：初期値では[後方異常接近記録：OFF]のため後方異常接近記録しません。使用する場合は、設定を変更してください。

※3：イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.22)

■ イベント発生のタイミングによる移動ファイル数について

A：イベント発生タイミングが録画開始直後 ① の「0 ～ 15秒未満」の場合
B：イベント発生タイミングが ③ の「15 ～ 30秒未満」の場合
C：イベント発生タイミングが ⑨ の「0 ～ 15秒未満」の場合
D：イベント発生タイミングが録画終了前 ⑫ の「15 ～ 30秒未満」の場合



1. 常時録画(通常録画、タイムラプス、動体検知記録)

常時録画には、通常録画/動体検知記録(28コマ/秒)とタイムラプス(1コマ/秒)があります。電源供給されている限り通常録画とタイムラプスは常時記録します。録画開始時に『ピッ』と音が鳴り、電源ランプ(赤)点灯します。

※音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(☛ P.68「音量」)

・**録画ファイル構成**
初期値(☛ P.38)で、1ファイルあたり通常録画/動体検知記録は約30秒、タイムラプスは約14分で生成します。

・**録画可能時間**
初期値(☛ P.38)で、付属のSDカード(32GB)に約41分/約19時間の常時録画が可能です。解像度/フレームレート/SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.92)

・**上書きモード**
初期値では、上書きモードが[すべて上書き]のため上限以降も古い録画ファイルを上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.32)

■ 通常録画

フレームレートを「28コマ/秒」で映像を常時記録します。

■ タイムラプス

長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し映像を常時記録します。

※タイムラプス中は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため約14分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。

※タイムラプス中は、音声録音されません。

■ 手動でタイムラプスへ切り替える

※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

A-1 録画中に、OKボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスで録画を開始します。

終了する場合は、タイムラプス中にOKボタンを3秒以上長押ししてください。(☛ P.11)

※本体の電源OFFでもタイムラプスは終了します。

■ 動体検知記録※4

フロント/リアカメラの映像の変化から動体を検知すると記録を開始します。

※映像の変化から人を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

※動体検知の感度は変更できます。(☛ P.67「Fカメラ駐車検知感度」「Rカメラ駐車検知感度」)

※フレームレートは通常録画と同様になります。



※4：駐車監視モードの[外部センサーOFF・動体検知][外部センサーON:動体検知]選択時に有効。

2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、後方異常接近記録)

イベント記録には、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/後方異常接近記録があります。
イベント記録開始時に『キンコーン』と音が鳴り、電源ランプ(赤)が遅点滅します。

※音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(☛ P.68「音量」)

※Gセンサー記録/後方異常接近記録中にはワンタッチ記録はできません。

※後方異常接近記録の初期値はOFFになります。ONにする場合は設定の変更を行う必要があります。変更内容によってイベント記録開始時のお知らせ方法は異なります。

⚠ 注 意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわりなく行うことはできません。(☛ P.32)

・録画ファイル構成
常時録画の録画ファイル構成と同様になります。
※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.21)

・最大記録件数
付属のSDカード(32GB)に、各イベント記録を合わせて約50件のイベント記録が可能です。
SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.92)

・上書きモード
初期値では、上書きモードが[すべて上書き]のため上限以降も古い録画ファイルを上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.32)

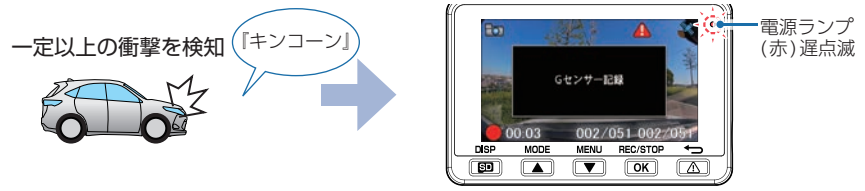
■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「EventRec」フォルダに移動します。

※初期値では「常時/駐車Gセンサー記録：ON」となります。設定で[OFF]にすることもできます。（☛ P.65「常時Gセンサー記録」「駐車Gセンサー記録」）

・Gセンサー感度

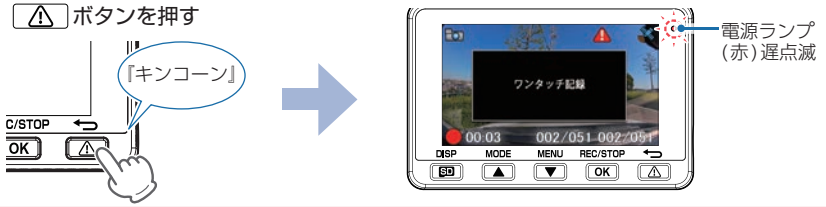
Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、常時はすべて[1.0G]、駐車はすべて[0.5G]となります。（☛ P.66「常時Gセンサー感度」「駐車Gセンサー感度」）



事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録

常時録画中に⚠ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



⚠ 注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

■ 後方異常接近記録

走行中に後方車の異常な接近を数秒間検知すると、録画ファイルをSDカードの「Event Rec」フォルダに移動します。

※初期値では[後方異常接近記録：OFF]のため後方異常接近記録しません。使用する場合は、設定を変更してください。（☛ P.68「後方異常接近記録」）



※5：お知らせ方法により異なります。（☛ P.36）

駐車監視モードについて

本機は駐車記録(車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと)用に駐車監視モードがあります。駐車監視モードの動作は設定により異なります。必要に応じてモードを切り替えてご使用ください。(☛ P.66「駐車監視モード」)

※駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、[バッテリー電源(+B)接続]が必須となります。電源の接続方法をご確認ください。(☛ P.47)
また、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)を使用することで、車両バッテリーに負担をかけずに駐車監視を行うこともできます。(☛ P.17)

※駐車監視モード中はワンタッチ記録を行うことができません。また、GPSの位置情報は記録しないため再生時に地図などは表示されません。

※駐車監視モード中は画面自動OFFの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。

※駐車監視モード中に「NormalRec」フォルダ、または「EventRec」フォルダが上書きできず上限に達した場合、電源OFFします。

1. 外部センサーを使用しない場合

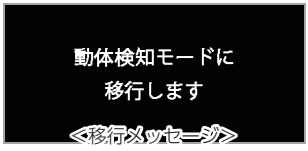
外部センサー OFF(動体検知/タイムラプス/Gセンサー記録)

■ 外部センサー OFF:動体検知[※1]

動体検知記録とGセンサー記録で動作します。



<動体検知記録>　<Gセンサー記録>



■ 外部センサー OFF:タイムラプス[※1]

タイムラプスとGセンサー記録で動作します。



<タイムラプス>　<Gセンサー記録>

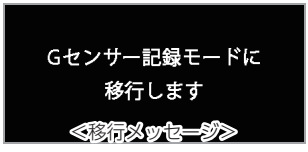


■ 外部センサー OFF:Gセンサー記録[※2]

Gセンサーで監視し、Gセンサー記録のみで動作します。

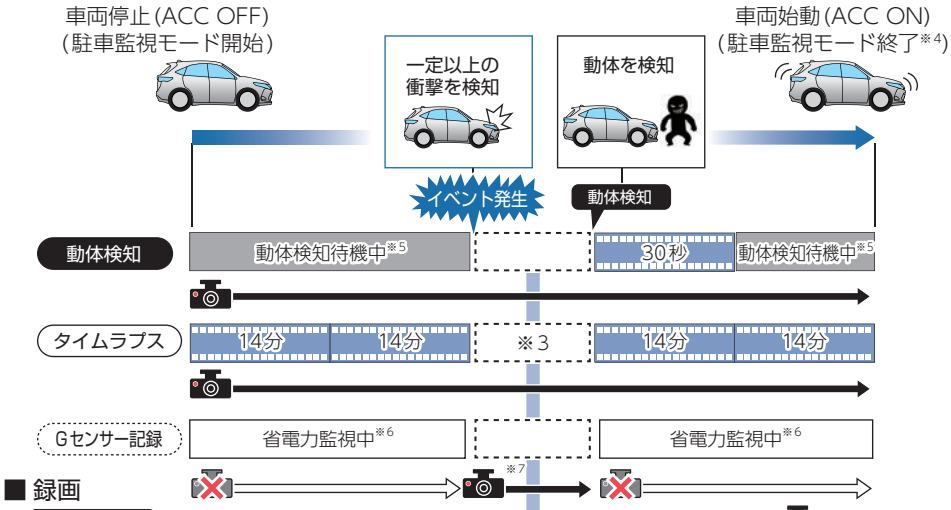


<省電力監視>　<Gセンサー記録>



※1:省電力の駐車監視ではありません。
※2:外部センサーを使用せず内蔵Gセンサーのみで行う省電力の駐車監視です。

駐車監視モード	録画	イベント記録
外部センサー OFF：動体検知	動体検知	Gセンサー記録のみ
外部センサー OFF：タイムラプス	タイムラプス	
外部センサー OFF：Gセンサー記録	ー	



※3：イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.22)

※4：検出電圧/オフタイマー設定(☛ P.67)、または OK ボタンを3秒以上長押しで終了することができます。

※5：動体検知待機中：動体/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態

※6：省電力監視中：外部/Gセンサー起動、カメラ停止、録画停止状態

※7：カメラ起動から録画開始まで数秒かかります。

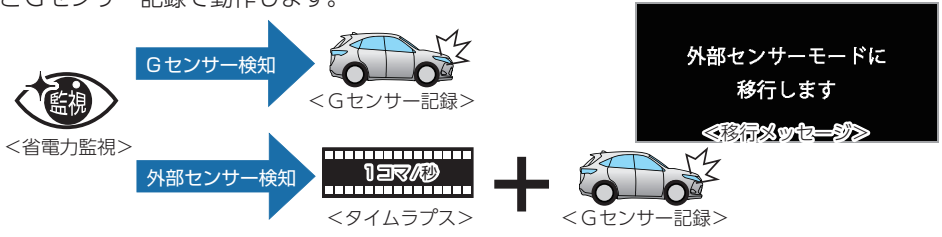
2. 外部センサーを使用する場合

省電力で外部センサーと内蔵Gセンサーの両方で駐車監視します。
※別売品の接近検知マイクロ波センサー (OP-MDS1) が必要です。

外部センサー ON (タイムラプス/通常録画/動体検知)

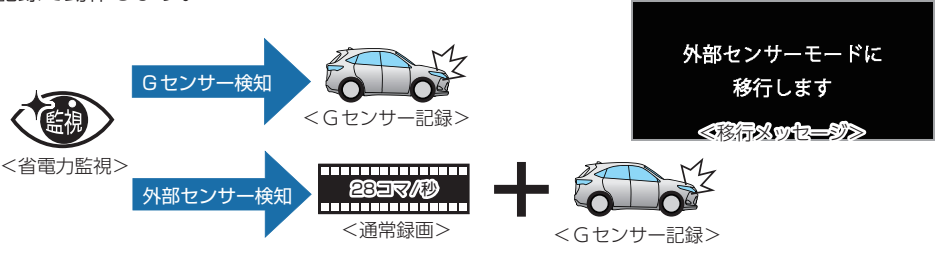
■ 外部センサー ON：タイムラプス

外部センサーとGセンサーで監視し、検知後にカメラを起動してタイムラプス (1コマ/秒) とGセンサー記録で動作します。



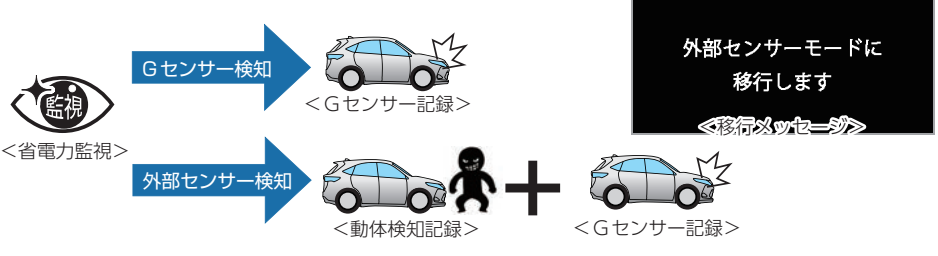
■ 外部センサー ON：通常録画

外部センサーとGセンサーで監視し、検知後にカメラを起動して通常録画とGセンサー記録で動作します。



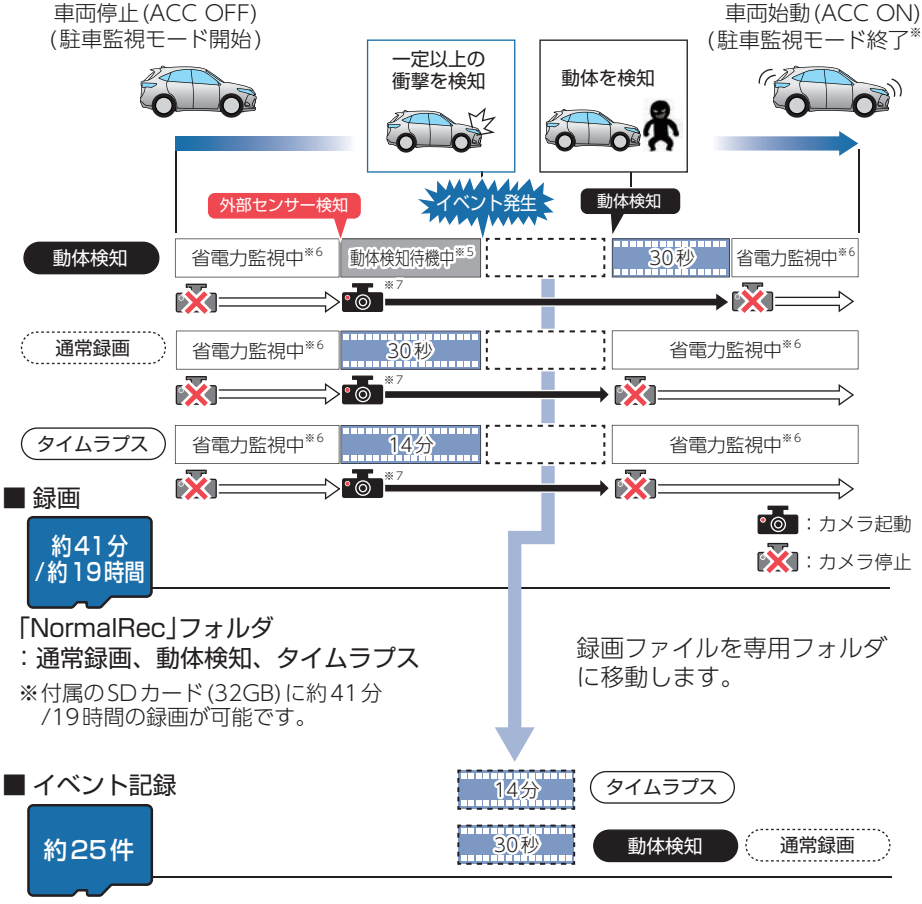
■ 外部センサー ON：動体検知

外部センサー /映像 (動体検知)/Gセンサーで監視し、検知後にカメラを起動して動体検知とGセンサー記録で動作します。



駐車監視モード	録画	イベント記録
外部センサー ON：タイムラプス	タイムラプス	Gセンサー記録のみ
外部センサー ON：通常録画	通常録画	
外部センサー ON：動体検知	動体検知記録	

省電力監視中に外部センサーを先に検知した場合



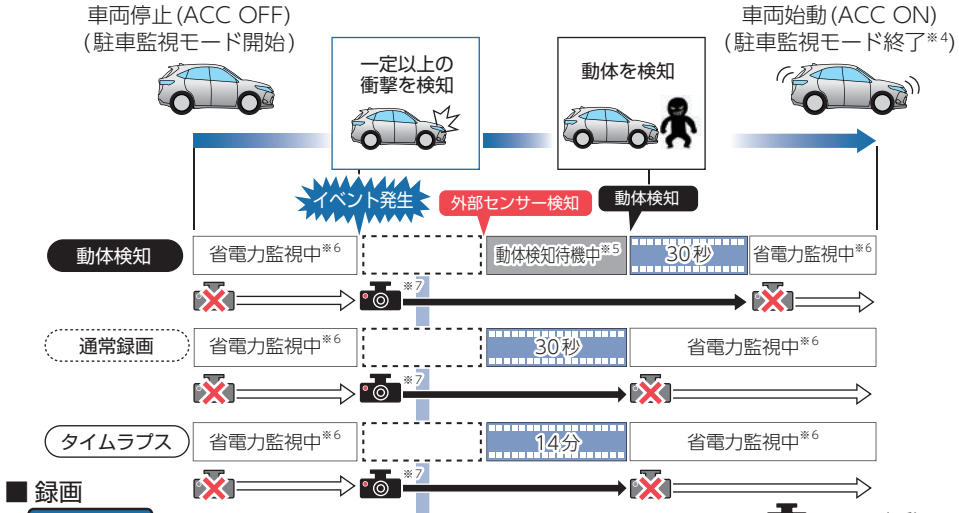
※4：検出電圧/オフタイマー設定(☛ P.67)、または OK ボタンを3秒以上長押しで終了することができます。

※5：動体検知待機中：動体/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態

※6：省電力監視中：外部/Gセンサー起動、カメラ停止、録画停止状態

※7：カメラ起動から録画開始まで数秒かかります。

省電力監視中にGセンサーを先に検知した場合



「NormalRec」フォルダ
：通常録画、動体検知、タイムラプス

※付属のSDカード(32GB)に約41分/19時間の録画が可能です。

録画ファイルを専用フォルダに移動します。

■ イベント記録

約25件



「EventRec」フォルダ：Gセンサー記録

※付属のSDカード(32GB)に、約25件のGセンサー記録が可能です。

※4：検出電圧/オフタイマー設定(☛ P.67)、または OK ボタンを3秒以上長押しで終了することができます。

※5：動体検知待機中：動体/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態

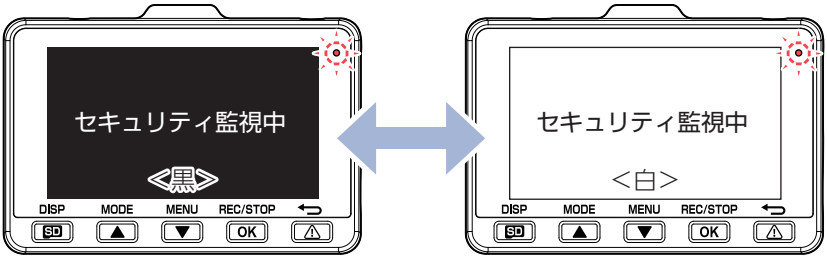
※6：省電力監視中：外部/Gセンサー起動、カメラ停止、録画停止状態

※7：カメラ起動から録画開始まで数秒かかります。

3. 警報機能

駐車監視モード時に外部センサー検知、またはイベント記録が発生した場合、約10秒間LCDフラッシュ(画面の白黒点滅)で不審者を威嚇します。

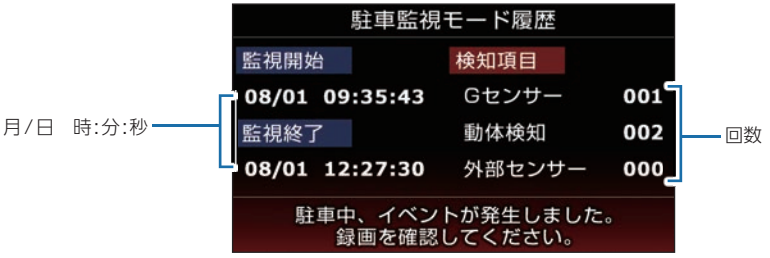
※初期値では[LCDフラッシュ：OFF]のため機能しません。(☛ P.67)



4. 履歴表示

駐車監視モード中にイベント記録があった場合、次回起動時に『駐車監視モード中にイベント記録が発生しました』とお知らせし、開始時刻/終了時刻/Gセンサーイベント(回数)/動体検知(回数)/外部センサー検知(回数)を数秒表示します。

※初期値では[履歴表示：OFF]のため機能しません。(☛ P.67)



※駐車監視モード移行後、約3分間はドアの開閉による衝撃などが発生するため、その間のイベント記録は履歴にカウントされません。

※駐車監視モード中に「NormalRec」フォルダ、または「EventRec」フォルダが上書きできず上限に達した場合、電源OFFします。

上書きモード

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.66「上書きモード」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	常時録画(NormalRec)フォルダのファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
すべて上書き(初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

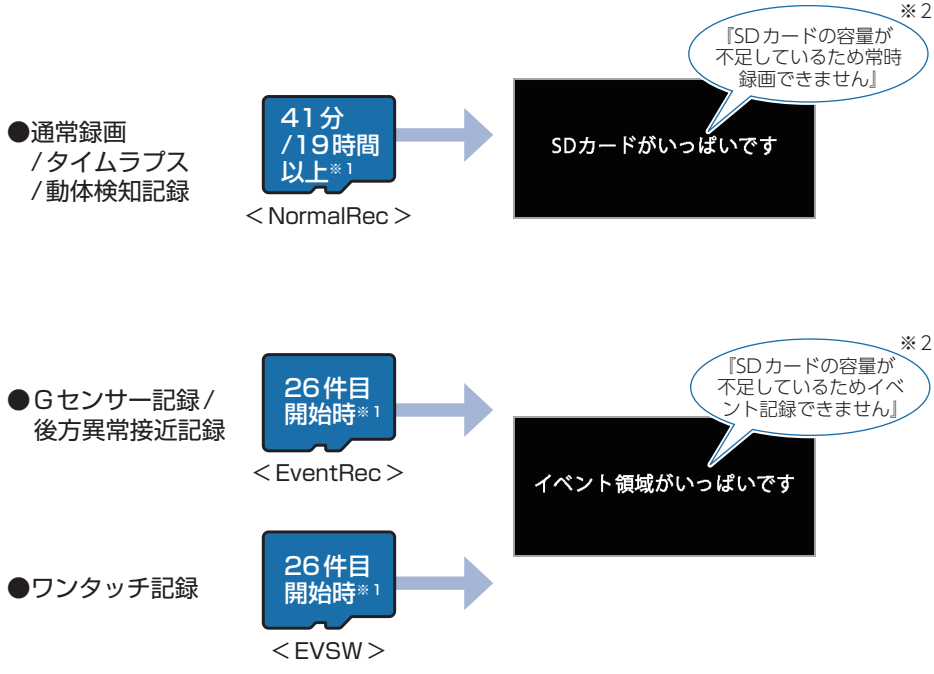
※上書きは古い録画ファイルから自動で行われます。

■ 上書き禁止

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

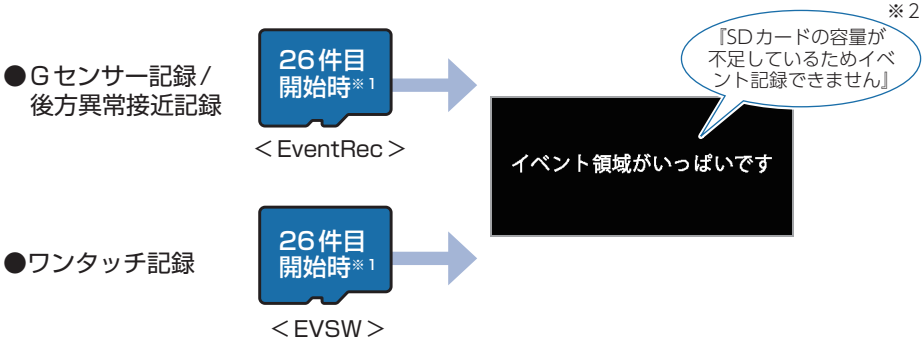
例①：イベント記録(EventRec、EVSW)フォルダの上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画(NormalRec)ファルダが上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画(NormalRec)フォルダの上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわりなく記録を行うことはできません。



■ 常時録画上書き

常時録画(NormalRec)フォルダが上限に達すると、そのフォルダ内のファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録は、フォルダ(EventRec、EVSW)の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。



■ すべて上書き(初期値)

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、記録を続けます。

メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※1：解像度/フレームレート/SDカードの容量によって時間/件数は異なります。(☛ P.92)
※2：音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(☛ P.68「音量」)

安全運転サポート機能について

安全運転サポート機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的とした機能になります。事故を未然に防ぐものではありません。

※安全運転サポート機能は、録画中、録画停止中(画面OFF時も含む)にお知らせします。駐車監視モード中では機能が無効になりお知らせしません。あらかじめご了承ください。

※安全運転サポート機能の画面表示は、録画ファイルには録画されません。音は、設定を「音量：OFF以外、音声録音：ON」のとき、音声として録画ファイルに録音されます。

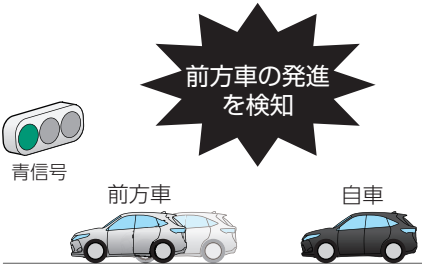
⚠注 意

- 安全運転サポート機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。また、運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は前方/後方車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。
- 前方車発進警告、車線逸脱警告、前方車接近警告を使用する場合は、取り付け位置に条件があるためフロントガラス上部・中央へ取り付けてください。(☛ P.39)
- 後方異常接近記録/警告を使用する場合は、取り付け位置/角度に条件があるためリアガラス上部・中央へ取り付けてください。(☛ P.40)
- 安全運転サポート機能の初期値は全て[OFF]のため機能しません。使用する場合は設定変更を行ってください。(☛ P.67)

1. 前方車発進警告

信号待ちで会話に夢中になっている時など、前方車が発進しても自車が止まったままの場合にお知らせします。

・前方車が発進し、自車が停止状態



お知らせ方法は下記から選択できます。(☛ P.67)

・警告音 ……『ピッ×3回』
・音声警告…『前方車両を確認してください』
・音声なし…警告音/音声警告は鳴りません。



※ 上記画面を約3秒間表示します。

※ [音量：OFF]の場合、警告音/音声警告は鳴りません。

・停車時に機能します。走行時は機能しません。
・画像処理によって前方車を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、前方車の形状や色、前方車との距離、周囲の状況、気象条件等によって、正常に機能しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 車線逸脱警告

走行中に自車の車線逸脱(走行車線からのはみ出し)を検知するとお知らせします。



お知らせ方法は下記から選択できます。(☛ P.67)
- 警告音 ……『ピッ×5回』
- 音声警告…『車線注意』
- 音声なし…警告音/音声警告は鳴りません。



※ 上記画面を約3秒間表示。

※ [音量:OFF]の場合、警告音/音声警告は鳴りません。

- GPSを測位した状態で機能します。GPS測位ができない場合は機能しません。
- 車両速度が時速50km/h以下の場合は機能しません。
  ※GPSデータによる車速は、実際の走行速度と最大で1秒程度のずれが生じます。車線逸脱のおそれが減少した場合でもお知らせする場合があります。
- 画像処理によって車線を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、車線の種類、車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、正常に機能しない場合があります。あらかじめご了承ください。
  ※白色または黄色の直線や破線以外の形状の車線は認識できない場合があります。
  ※積雪などで車線を検知できない場合は機能しません。
  ※経年劣化した車線(かすれ、削れている)は認識できない場合があります。
  ※ワイパー作動中は車線を認識できない場合があります。
- 車両のウインカーと連動していないため、車線変更時にもお知らせします。

3. 前方車接近警告

走行中に前方車と接近し過ぎた場合にお知らせします。

・前方車と自車が接近



お知らせ方法は下記から選択できます。(☛ P.67)
- 警告音 ……『ピッ×10回』
- 音声警告…『車間に注意してください』
- 音声なし…警告音/音声警告は鳴りません。



※ 上記画面を約3秒間表示。

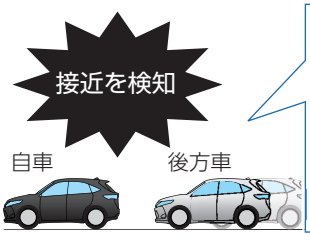
※ [音量:OFF]の場合、警告音/音声警告は鳴りません。

- GPSを測位した状態で機能します。GPS測位ができない場合は機能しません。
- 車両速度が時速50km/h以下の場合は機能しません。
  ※GPSデータによる車速は、実際の走行速度と最大で1秒程度のずれが生じます。衝突のおそれが減少した場合でもお知らせする場合があります。
- 画像処理によって前方車を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、前方車の形状や色、前方車との距離、周囲の状況、気象条件等によって、正常に機能しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 車線変更時は前方車を検知しないため、前方車と接近しすぎた場合でもお知らせしません。

4. 後方異常接近記録/警告

走行中に後方車の異常接近を数秒間検知すると、お知らせとイベント記録を行います。
設定にてイベント記録のみ、またはお知らせのみにすることが可能です。(☛ P.68)

※リアカメラの接続が必要です。



お知らせ方法は下記から選択できます。(☛ P.68)

・警告音 ……『ピッ×5回』
・音声警告…『後方危険運転を検知しました』
・音声なし…警告音/音声警告は鳴りません。



※ 上記画面を約3秒間表示。

※[音量：OFF]の場合、警告音/音声警告は鳴りません。

・GPSを測位した状態で機能します。GPS測位ができない場合は機能しません。
・車両速度が時速50km/h以下の場合は機能しません。
※GPSデータによる車速は、実際の走行速度と最大で1秒程度のずれが生じます。異常接近のおそれが減少した場合でもお知らせする場合があります。
・画像処理によって後方車を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、後方車の形状や色、後方車との距離、周囲の状況、気象条件、時間帯等によって、正常に機能しない場合があります。あらかじめご了承ください。
※夜間では後方車のヘッドライトの光量や、街灯のない場所だと車両の判別ができない場合があります。

メンテナンスについて

■ 必要に応じてのメンテナンス

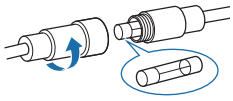
・+B/ACC電源直結コードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)×2

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 電源コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

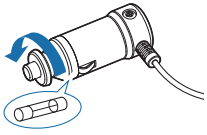
※シガープラグコード(OP-ED0015):交換用ヒューズ2A(30mm×6.3mm)
※マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ):交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 電源コード/接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

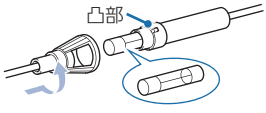
<OP-ED0015>

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグコードの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



<OP-MB4000Ⅱ>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
フロント カメラ解像度	4K (3840×2160)	フロントカメラの解像度を4Kの解像度で録画します。 ※ リアカメラの解像度は[1080P]で固定です。
コーデック	H.264	録画コーデックをH.264で記録します。
音声録音	ON	動画と同時に音声も録音します。
常時Gセンサー記録	ON	常時録画時Gセンサー記録を行います。
常時Gセンサー感度	X：1.0G Y：1.0G Z：1.0G	常時録画時のGセンサー感度を「1.0G」で設定しています。
上書きモード	全て上書き	SDカードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。(☛ P.32)
自動駐車モード切替	OFF	車両停止(ACC OFF)に連動して駐車監視モードへ移行しません。
車線逸脱警告	OFF	各警告は行いません。
前方車接近警告		
前方車発進警告		
後方異常接近警告		
リアカメラ	正像	リアカメラの映像を正像で表示します。 ※ 記録映像は[正像]で固定になります。
音量	60%	本機の音量を60%に設定しています。 ※ 音量は操作音、音声によるお知らせ、常時録画/イベント記録開始時の音、録画ファイル再生音に反映されます。
画面自動オフ	30秒後	30秒間無操作で画面OFFします。

※初期値を変更する場合は、☛ P.65を参照ください。

本機の取り付け

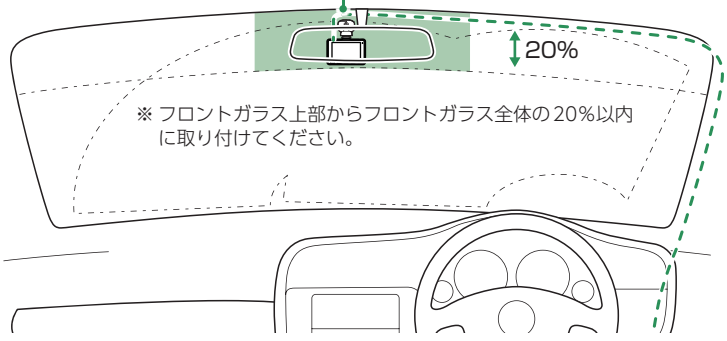
取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
・視界の妨げにならないように取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
・前方車発進警告、車線逸脱警告、前方車接近警告を使用する場合は、取り付け位置に条件があるためフロントガラス上部・中央へ取り付けてください。

前方車発進警告、車線逸脱警告、前方車接近警告 使用時の推奨取り付け位置(フロントガラス上部・中央)

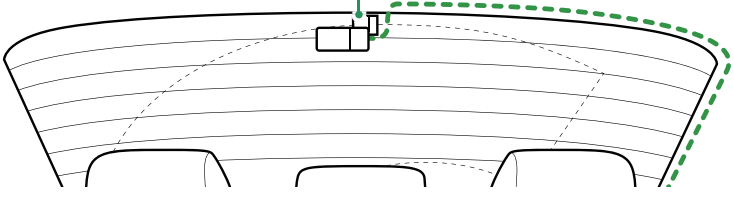


取り付けの注意

■ リアカメラユニット

・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
・後方異常接近記録/警告を使用する場合は、取り付け位置/角度に条件があるためリアガラス上部・中央へ取り付けてください。

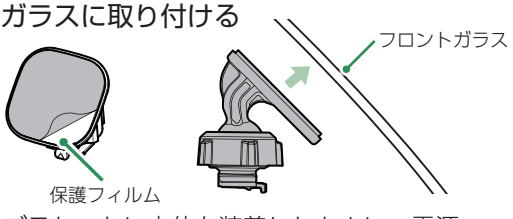
後方異常接近記録/警告使用時の推奨取り付け位置(リアガラス上部・中央)



1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。
※ご購入時はレンズに保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

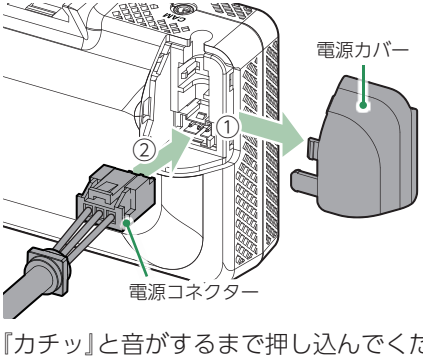


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

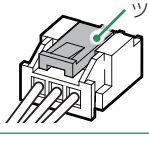
- フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- 固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 本体の電源カバーを外し、電源コネクターを接続する



■ 取り外し方法

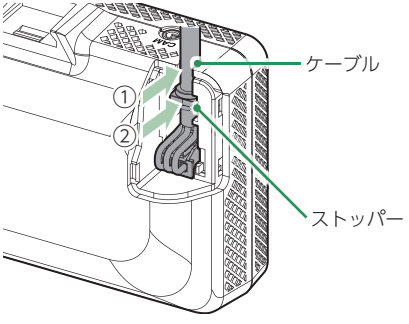
電源コネクターのツメ部を押しながら取り外す。



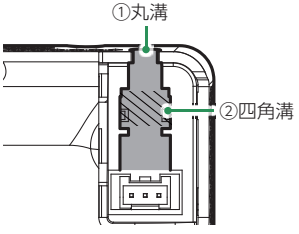
『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※電源コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-3 ケーブルを丸溝に押し込み、ストッパーを四角溝に押し込む

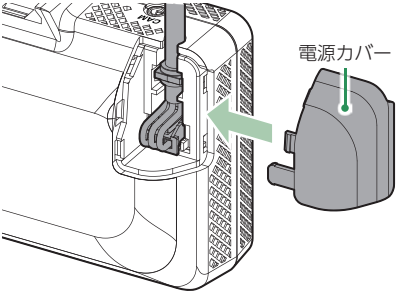


■ 正面図



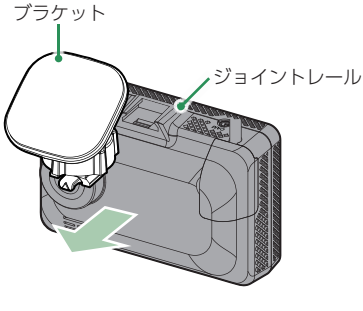
※取り外す場合は無理にケーブルを引っ張らず、丸溝のケーブルから取り外してください。

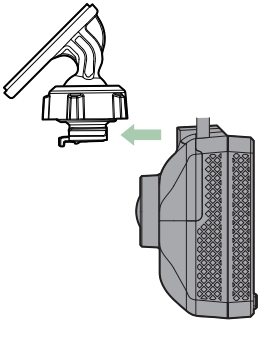
1-4 電源カバーを取り付ける



※コード類がはさまらないようにご注意ください。

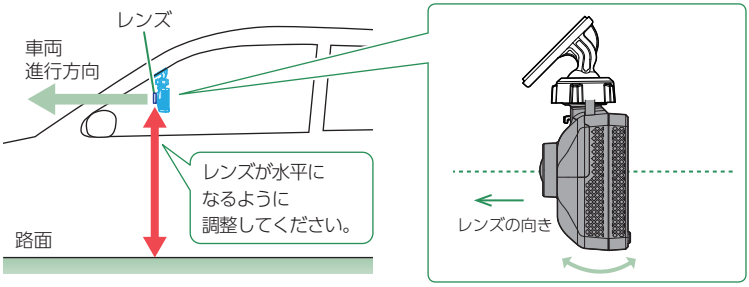
1-5 フロントカメラ用ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせ装着する





『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

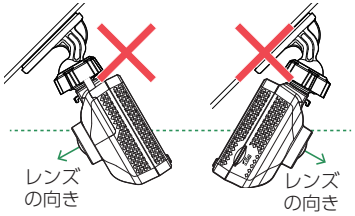
1-6 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。
※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

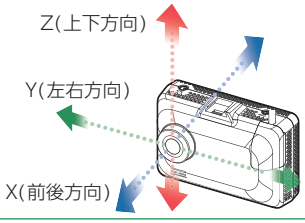
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



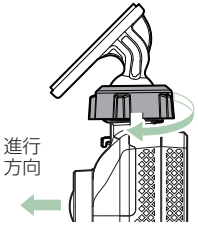
Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は常時録画で0.5G(敏感)～4.0G(鈍感)、駐車監視モードで0.2G(敏感)～4.0G(鈍感)の0.1G単位で設定できます。



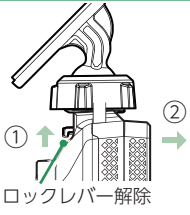
1-7 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

①ロック解除レバーを持ち上げる。

②本体を矢印の方向へスライドさせる。



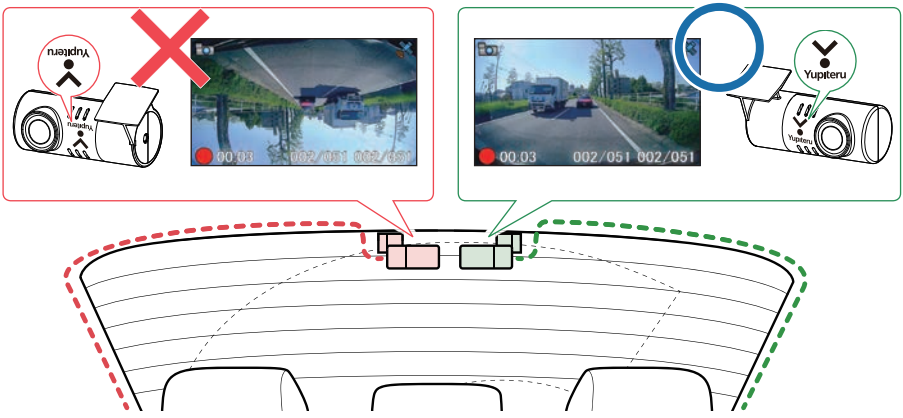
※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. リアカメラユニットを取り付ける

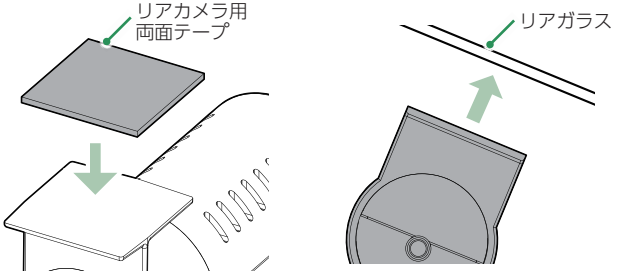
あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注 意

・リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画することができます。必要に応じてご使用ください。
・付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。



2-1 リアカメラ用ブラケットに付属のリアカメラ用両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



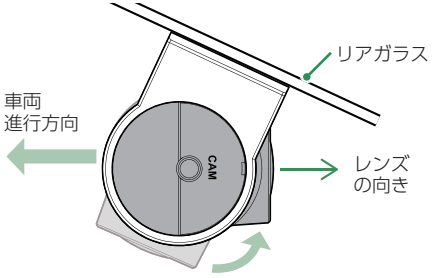
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

・リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
・貼り直しをすると両面テープの粘着力が弱まり脱落するおそれがあります。
・固定力を強くするために24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

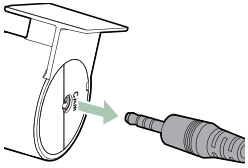
2-2 レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合

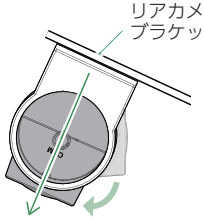


リアカメラユニットの取り外し方法

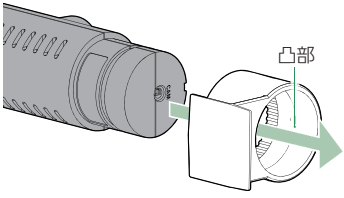
①リアカメラケーブルを取り外す。



②レンズを下図の位置まで回す。



③リアカメラユニットをリアカメラ用ブラケットから引き抜く。

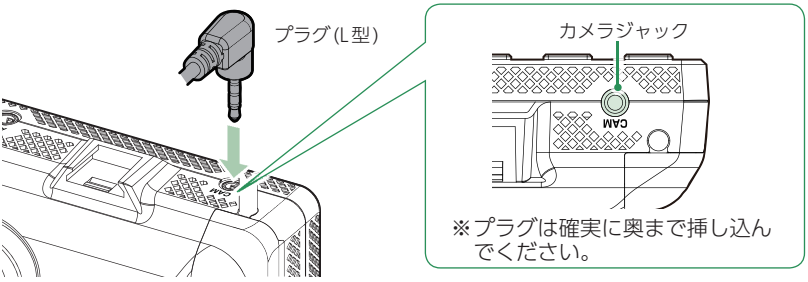


※ リアカメラ用ブラケットには凸部があり、無理に引き抜こうとすると破損の原因となります。必ず②の位置まで回してから取り外してください。

3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。
※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

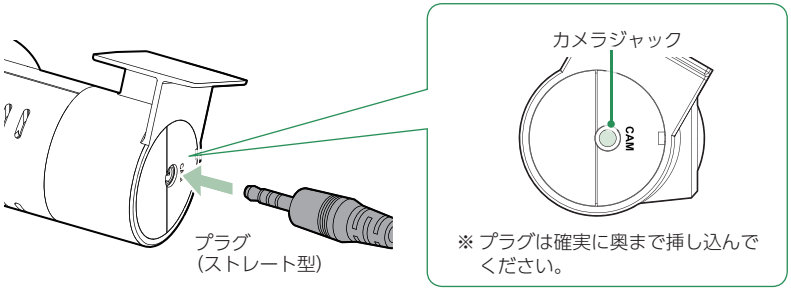
3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルのプラグをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。
※フロントカメラユニットにはプラグ(L型)をご使用ください。プラグ(ストレート型)を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線のおそれがあります。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品の結束バンドなどを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

付属の+B/ACC電源直結コードを接続します。
接続方法は車両始動/停止(ACC ON/OFF)に連動して録画開始から停止までを行う[アクセサリー(ACC)電源接続]と、車両停止(ACC OFF)後も録画を行う[バッテリー電源(+B)接続]があります。必要に応じて接続方法を変更してください。

⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
・駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、[バッテリー電源(+B)接続]が必須となります。また、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)を使用することで、車両バッテリーに負担をかけずに駐車監視を行うこともできます。(☛ P.17)
・別売品のシガープラグコード(OP-ED0015)で接続した場合、駐車監視モードは使用できません。

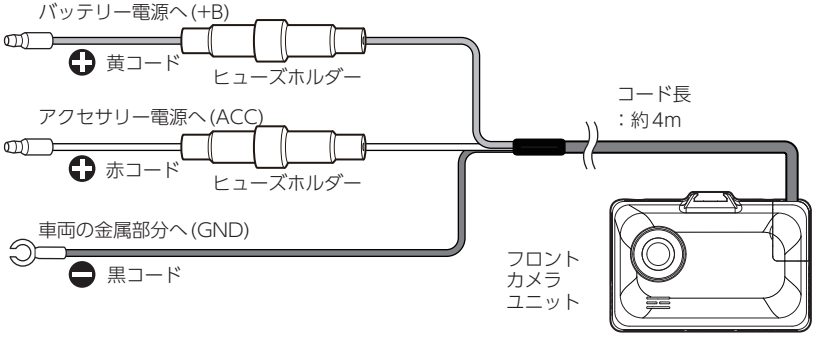
■ A：バッテリー電源(+B)接続(※駐車監視モード使用可)

⚠ 注 意

一部の車両においては駐車中にバッテリー電源(+B)の常時取得ができない、または車両システムに影響を与える場合があるため、あらかじめ取り付け車両のご確認をお願いします。

A-1 電源コードを接続する

黄コードは、必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源に接続してください。



駐車監視モードを使用する、または起動から数秒で録画を開始するためには上記の接続方法にしてください。この接続では駐車監視モード時のカメラが起動していない状態では省電力で動作します。

※付属の+B/ACC電源直結コードをご使用ください。

※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

A-2 市販品の結束バンドなどを使い配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

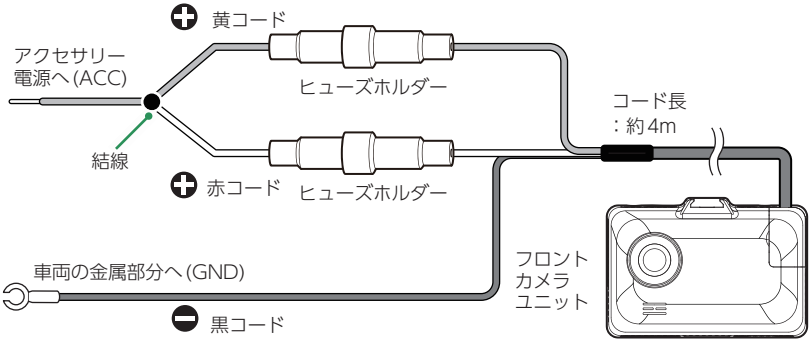
取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

取り付け後は、駐車監視モードの設定を行ってください。(☛ P.62)

■ B：アクセサリー電源(ACC)接続(※駐車監視モード使用不可)

B-1 電源コードを接続する

黄コードと赤コードを結線します。結線したコードは必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源に接続してください。



駐車監視モードを使用しない場合は上記の接続方法にしてください。
この接続では車両停止(ACC OFF)時に電源供給されないため、バッテリー上がりの心配はありません。

※起動から録画開始まで十数秒かかります。
※付属の+B/ACC電源直結コードをご使用ください。
※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

B-2 市販品の結束バンドなどを使い配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

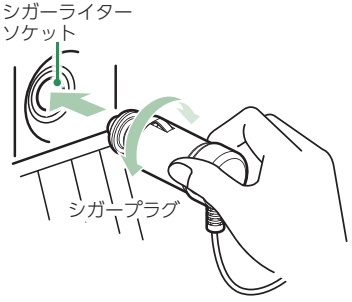
別売品の取り付け

1. シガープラグコード(OP-ED0015)の接続方法

⚠ 注 意

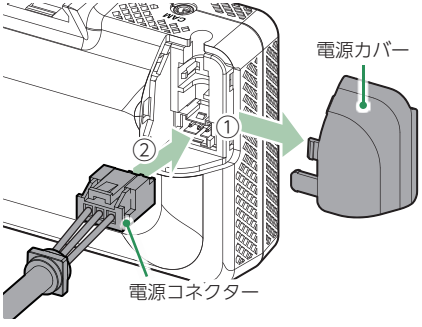
別売品のシガープラグコード(OP-ED0015)で接続した場合、駐車監視モードは使用できません。
駐車監視モードを使用する場合は、付属の+B/ACC電源直結コードで接続してください。
(☛ P.47)

1-1 シガープラグを接続する



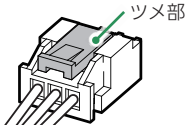
シガープラグを車両のシガーライターソケットに2、3回ひねりながら挿し込みます。

1-2 本体の電源カバーを外し、電源コネクターを接続する



■ 取り外し方法

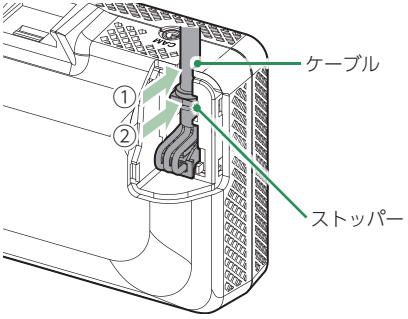
電源コネクターのツメ部を押しながら取り外す。



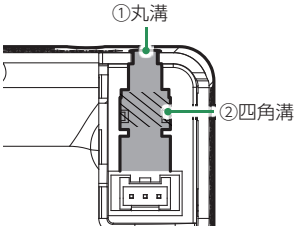
『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※電源コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-3 ケーブルを丸溝に押し込み、ストッパーを四角溝に押し込む

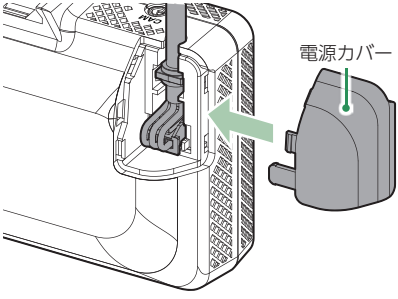


■ 正面図



※取り外す場合は無理にケーブルを引っ張らず、丸溝のケーブルから取り外してください。

1-4 電源カバーを取り付ける



※コード類がはさまらないようにご注意ください。

1-5 市販品の結束バンドなどを使い配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

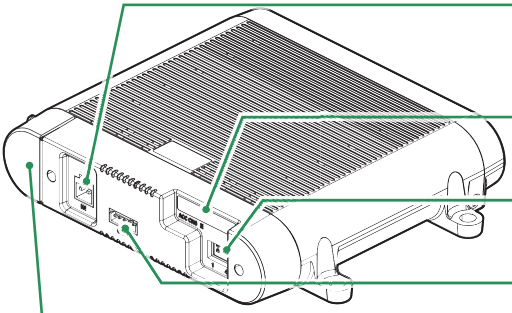
・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

2. マルチバッテリー (OP-MB4000Ⅱ) の接続方法

⚠ 注 意

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- OP-MB4000Ⅱを3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
  ※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000Ⅱ



入力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の入力コードを接続します。

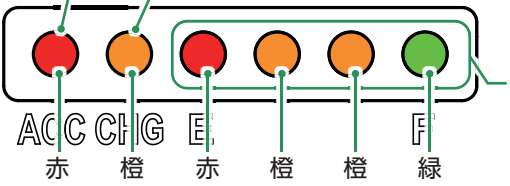
表示ランプ
給電・充電・電池残量をランプで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の出力コードを接続します。

電源コネクター

■ 表示ランプについて



本体給電中に点灯、放電中に低速点滅します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し低速点滅します。
※ 高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をランプの点灯数で表示します。
※ 車両停止(ACC OFF)後、5秒間点灯します。
※ 約3時間で満充電になります。

■ OP-MB4000Ⅱ 接続時に必要なもの

①OP-MB4000Ⅱ　②OP-MB4000Ⅱ付属入力コード　③OP-MB4000Ⅱ付属出力コード　④電源直結コード(ドライブレコーダー付属の電源直結コード)　⑤市販品接続端子(ギボシ端子など)

2-1 オフタイマーを[無制限]に設定する

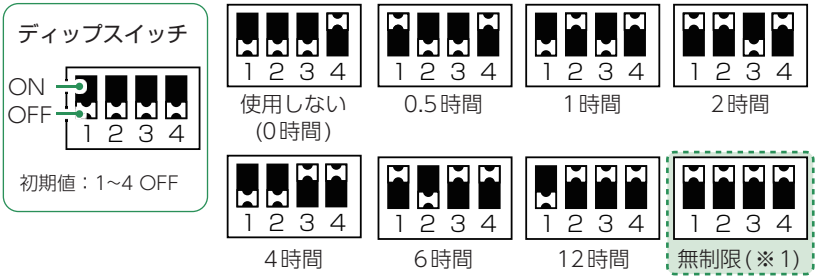
車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。[無制限]に設定することで、OP-MB4000Ⅱの電源供給を最大まで使用することができます。

※お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

※駐車監視モードを行う時間は、ドライブレコーダー側で設定してください。
(☛ P.67「オフタイマー」)

■ オフタイマー設定



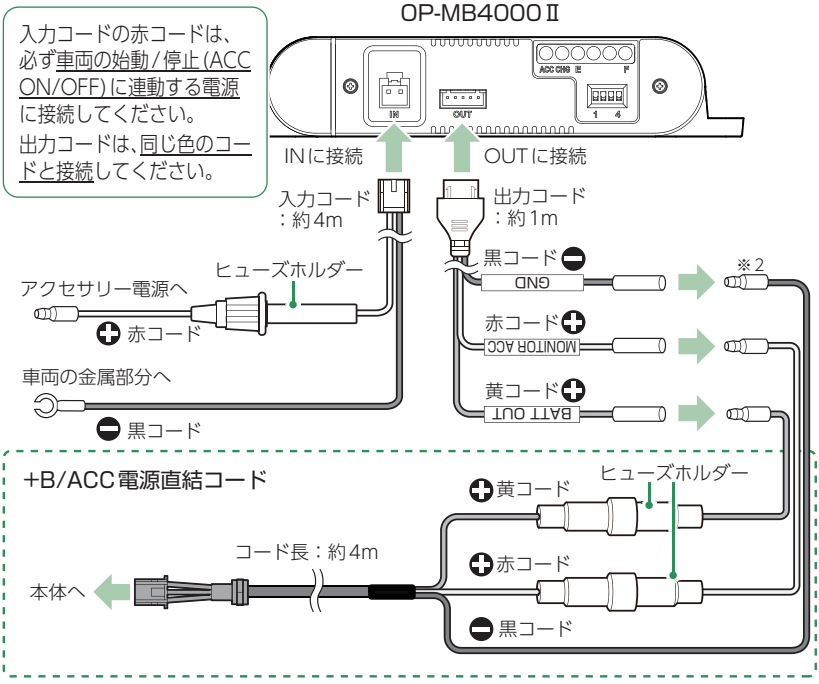
※1：電池残量がなくなるまで電源を供給します。

⚠ 注 意

・オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。

・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000Ⅱの内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-2 OP-MB4000Ⅱを車両に接続する



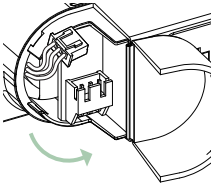
※2：あらかじめ市販品の接続端子を取り付けてください。

2-3 本体の電源カバーを外し、電源コネクターを接続する

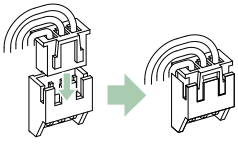
手順「1-2」～「1-4」(☛ P.50、51)を参照ください。

2-4 電源コネクターを接続する

①カバーを開ける

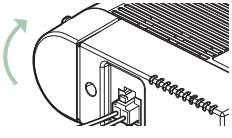


②電源コネクターを接続する



※奥まで確実に挿し込んでください。

③カバーを閉じる



※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

2-5 OP-MB4000Ⅱ付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

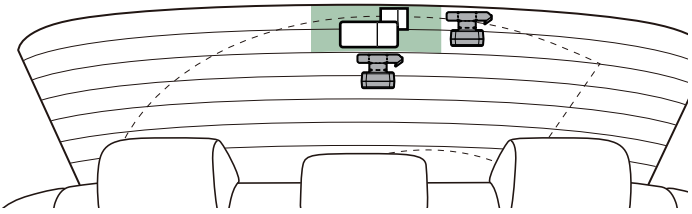
取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

取り付け後は、自動駐車モード切替を[ON]、検出電圧を[OPバッテリー使用]に設定してください。(☛ P.66、67)

取り付けの注意

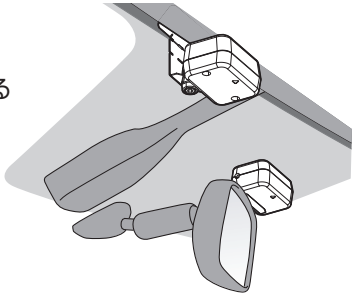
■ A：リアガラスに取り付ける

・本体にブラケットを装着してリアガラスに貼り付けてください。
※ ブラケットの取り付け、リアガラスの貼り付け方法はOP-MDS1 取扱説明書を参照ください。
・検知範囲が左右均等になるようにできるだけ中央に取り付けてください。また、△が車室内の中心部を向くように位置を調整してください。
・リアカメラの下、もしくはリアカメラの横(左右)に取り付けることを推奨します。
・リアカメラの映像にOP-MDS1 が映り込まない位置に設置してください。



■ B：ルームミラーに取り付ける

■ C：フロントガラスと天井のすき間に取り付ける



※ A・B・Cでの取り付け、検知範囲等の詳細は
OP-MDS1 取扱説明書を参照ください。

■ OP-MDS1

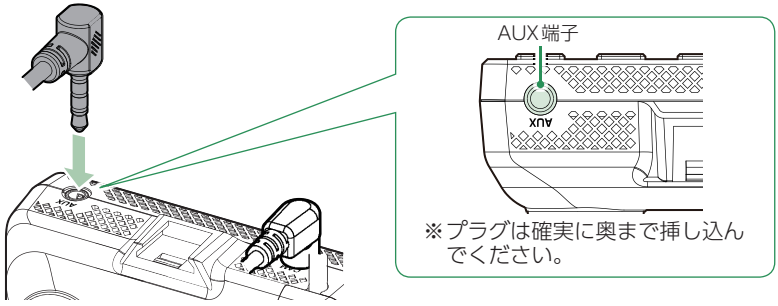


※ △を車室内の中心部に向けてください。
※ 上下両方向取付可能。

3-1 OP-MDS1を任意の場所へ取り付ける

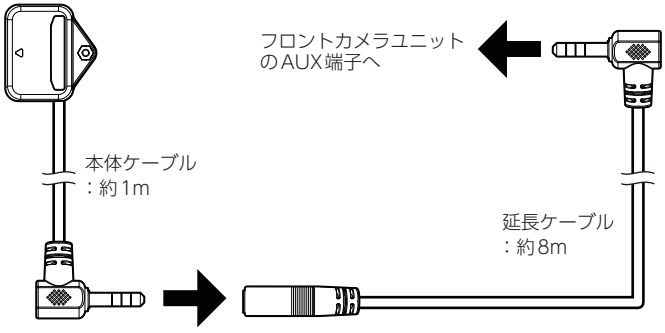
OP-MDS1の取扱説明書を参照ください。

3-2 フロントカメラユニットにOP-MDS1のケーブルを接続する



※ケーブルの長さが足りない場合は、延長ケーブル(8m)をつなげてください。

■ 延長ケーブル(※リアガラスに取り付ける場合 等)



3-3 市販品の結束バンドなどを使い配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付け後は、駐車監視モードを外部センサーに対応した設定[外部センサーON]に変更してください。(☛ P.66)

電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動
(ACC ON)

録画の開始 1 ▶ 録画の停止 2 ▶ 録画の再開 3 ▶ ワンタッチ記録 4 ▶ 音声録音 5 ▶ 画面切替 6 ▶ 録画の終了 7

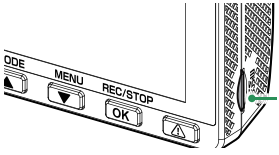
車両停止
(ACC OFF)

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

本機は、車両の始動(ACC ON)に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

☛ P.18「SDカードを本体へ装着する」

1-2 車両を始動(ACC ON)する



ランプの状態	本体の動作
赤点灯	常時録画中
赤遅点滅	イベント記録中
緑遅点滅	省電力監視中
赤早点滅	エラー時
緑点灯	録画以外の動作 /動体検知待機中
消灯	電源OFF

録画を開始します。

電源ランプ(赤)が点灯し、記録時間を表示します。

GPSを測位すると アイコンを表示し、GPS情報を取得します。

※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※GPSの測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

※エラーメッセージを表示した場合は ☛ P.85 を参照ください。

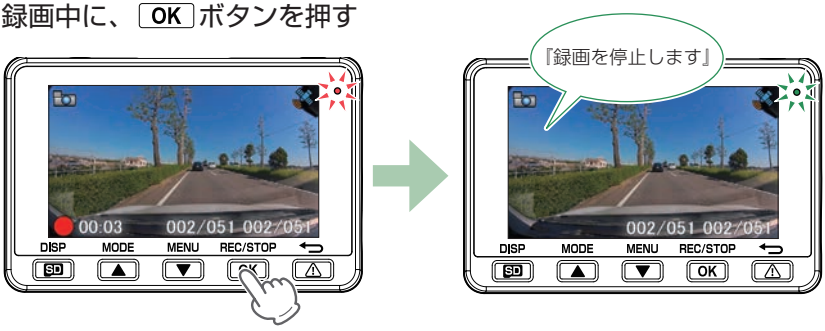
・録画開始までの時間について
本体の状態によって録画開始まで、十数秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードのチェック機能について
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(☛ P.85)

・GPS測位について
購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

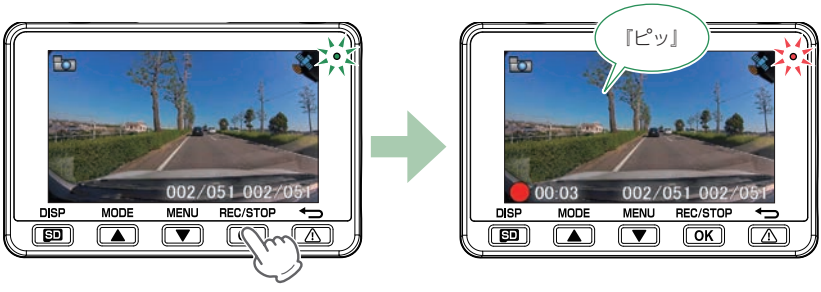
2-1 録画中に、[OK]ボタンを押す



録画を停止します。
電源ランプ(緑)が点灯し、記録時間が非表示になります。

3. 録画を再開する

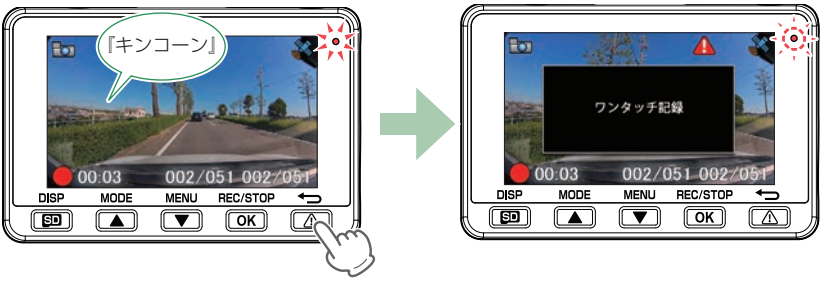
3-1 録画停止中に、[OK]ボタンを押す



録画を再開します。
設定メニューの場合は ☛ P.64、再生モードの場合は ☛ P.73を参照ください。

4. ワンタッチ記録をする

4-1 常時録画中に、[⚠]ボタンを押す



電源ランプ(赤)が遅点滅し、⚠アイコンを表示します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画を開始します。

※ワンタッチ記録の詳細は、☛ P.25を参照ください。

5. 音声録音をON/OFFする

※設定メニューからも変更できます。(☛ P.65「音声録音」)

5-1 録画中に、[▼]ボタンを3秒以上長押しする

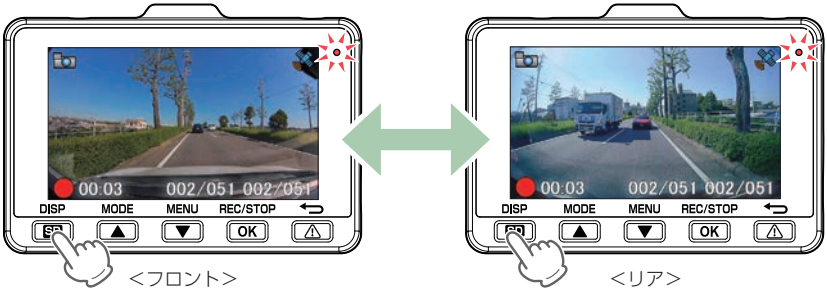


[▼]ボタンを3秒以上長押しするたびに、音声録音のON/OFFが切り替わります。

6. 画面表示を切り替える

※リアカメラの映像は正像/鏡像で切り替えることができます。(☛ P.68「リアカメラ」)

6-1 動画記録モードで、[SD]ボタンを押す



[SD]ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

7. 電源OFF(録画を終了する)

本機は、車両の停止(ACC OFF)に連動して録画を終了します。

7-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画が停止し、電源OFFになります。

駐車監視モードを行う場合は ☛ P.62を参照ください。

駐車監視を行う

⚠ 注 意

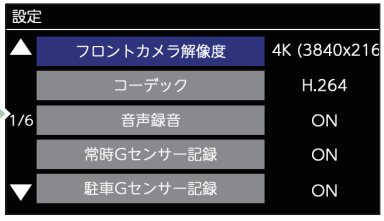
・駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、[バッテリー電源(+B)接続]が必須となります。電源の接続方法をご確認ください。(☛ P.47)
また、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)を使用することで、車両バッテリーに負担をかけずに駐車監視を行うこともできます。(☛ P.17)
・駐車監視モードは手動で切り替えることはできません。自動での切り替えのみ対応となります。

1. 駐車監視の準備

初期値では駐車監視は行いません。下記の設定を変更してください。

1-1 動画記録モードで、▼ボタンを押す

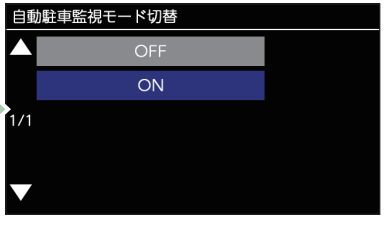




録画を停止し、設定メニューを表示します。

1-2 自動駐車モード切替を選択し、[ON]にする





※その他にも駐車監視モードに関する設定は複数あります。お好みに応じて詳細な設定を行ってください。(☛ P.65)

2. 駐車監視を行う(開始/終了)

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

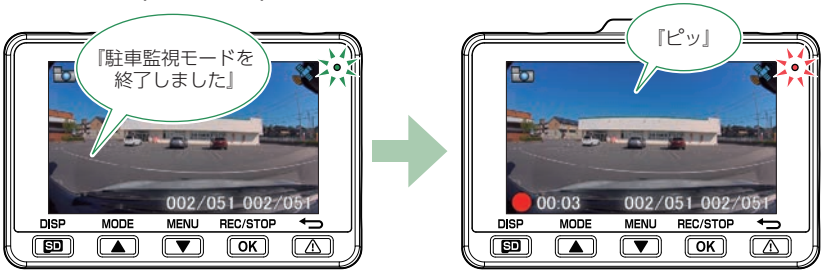


車両バッテリーから電源を供給し、自動で駐車監視モードへ移行して録画を開始します。

駐車監視モード中は、駐車監視アイコン( ) を表示します。

※駐車監視モードにより動作は異なります。(☛ P.26)

2-2 車両を始動(ACC ON)する

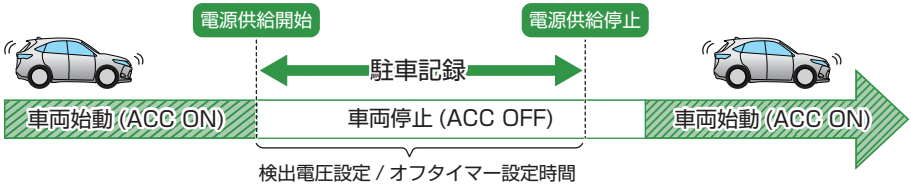


電源供給が継続している場合、自動で駐車監視モードを終了して通常の録画を開始します。

※検出電圧/オフタイマー設定により終了している場合、通常の録画を開始します。

※駐車監視モード時にイベント記録があった場合、起動時に履歴を表示させることができます。(☛ P.31)

■ 検出電圧/オフタイマーの動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を終了します。(☛ P.67)

※強制的に駐車記録を終了する場合は、OK ボタンを3秒以上長押ししてください。(☛ P.11)

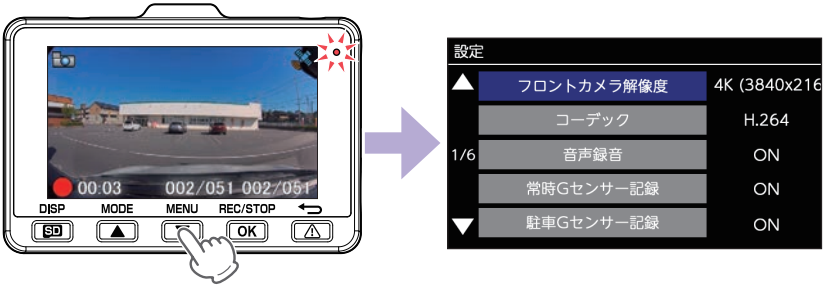
※省電力監視中は操作することができません。車両を始動(ACC ON)してから操作を行ってください。

設定メニューの表示方法

※駐車監視モード(☛ P.26)中は、設定や再生を行うことはできません。[OK]ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。
※省電力監視中は操作することができません。車両を始動(ACC ON)してから操作を行ってください。

1. 設定メニューを表示する

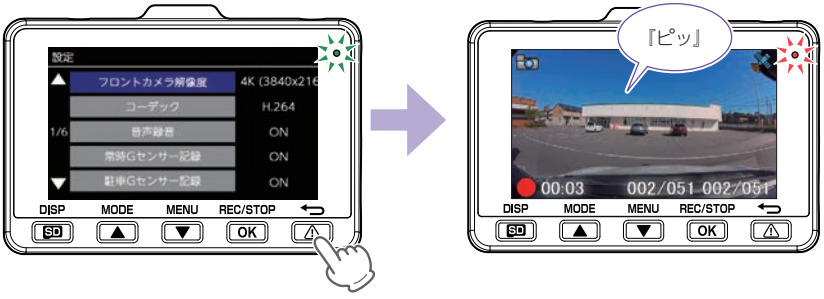
1-1 動画記録モードで、[▼]ボタンを押す



録画を停止し、設定メニューを表示します。

2. 録画を再開する

2-1 設定メニューで、[⚠]ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

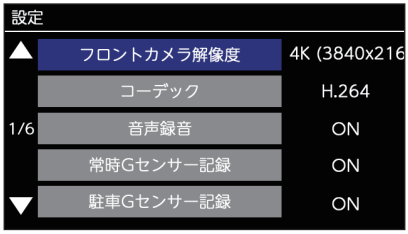
設定メニュー

設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.64 を参照ください。

■ 設定メニュー時のボタン機能

ボタン	機　能	
SD ボタン	使用しません。	
▲ ボタン	短押し	設定値を選択したり、値を増加します。
▼ ボタン	短押し	設定値を選択したり、値を増加します。
OK ボタン	短押し	選択項目を決定します。
⚠ ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。



< 1/6 >

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
フロントカメラ解像度 ※1	1080P(1920×1080) ／ 1440P(2560×1440) ／ 4K(3840×2160)(★)	フロントカメラの解像度を選択します。 ※ 変更する場合、フォーマットが必要になります。
コーデック	H.264(★) ／ H.265※2	録画コーデックを選択します。 ※ [H.265] 設定時の方が、高画質で記録できます。
音声録音	OFF ／ ON(★)	動画と同時に音声を録音するかON/OFFで設定します。
常時Gセンサー記録	OFF ／ ON(★)	常時録画/駐車監視モード(☛ P.26)時にGセンサー記録をするかON/OFFで設定します。
駐車Gセンサー記録	OFF ／ ON(★)	

※1：リアカメラの解像度は[1080P(1920×1080)]で固定です。

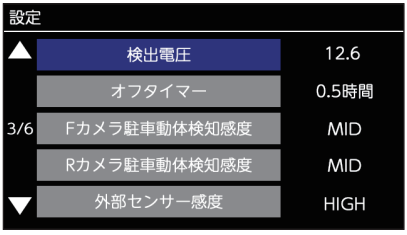
※2：「H.265」の映像をパソコンで再生する場合は、「H.265」のハードウェア動画再生支援機能を備えた仕様のパソコンが必要となります。



< 2/6 >

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
常時Gセンサー感度	X:0.5～4.0G(1.0G★)	各録画方法でのGセンサー感度を設定します。 X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。
	Y:0.5～4.0G(1.0G★)	
	Z:0.5～4.0G(1.0G★)	
駐車Gセンサー感度	X:0.2～4.0G(0.5G★)	
	Y:0.2～4.0G(0.5G★)	
	Z:0.2～4.0G(0.5G★)	
上書きモード	上書き禁止 ／常時録画上書き ／全て上書き(★)	詳細は ☛ P.32 を参照ください。
自動駐車モード切替	OFF(★) ／ ON	[ON]で車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車監視モードへ以降します。また、車両始動(ACC ON)で駐車監視モードを終了します。
駐車監視モード	外部センサー OFF・動体検知 ／外部センサー OFF・タイムラプス(★) ／外部センサー OFF・Gセンサー記録 ／外部センサー ON・タイムラプス ／外部センサー ON・通常録画 ／外部センサー ON・動体検知	駐車監視モードの方式を選択します。 ※各モードの詳細は ☛ P.26参照ください。



< 3/6 >

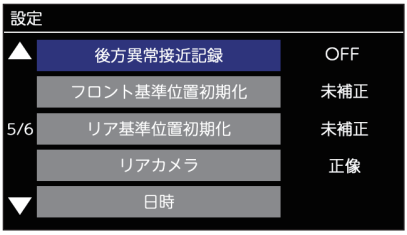


< 4/6 >

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
検出電圧	11.6V／11.8V／12.0V／12.2V／12.4V／12.6V(★)／OPバッテリー使用※3	駐車監視モード時に選択した電圧以下になると電源OFFします。
オフタイマー	0.5時間(★)／1時間／2時間／3時間／4時間／6時間／12時間／24時間	駐車監視モードを行う時間を選択します。 ※ オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には電源供給を停止します。
Fカメラ駐車動体検知感度 Rカメラ駐車動体検知感度	OFF(無効)／LOW(鈍感)／MID(★普通)／HIGH(敏感)	駐車監視モード時のフロント(F)/リアカメラ(R)の動体検知の感度を選択します。
外部センサー	LOW(鈍感)／MID(普通)／HIGH(★敏感)	別売品の外部センサー(OP-MDS1)の感度を選択します。
履歴表示	OFF(★)／ON	[ON]で駐車監視モード時のイベント履歴を表示します。(☛ P.31)
LCDフラッシュ(☛ P.31)	OFF(★)／ON	駐車監視モード時にイベント記録が発生した場合、LCDフラッシュを行うかON/OFFで設定します。
車線逸脱警告 前方車接近警告 前方車発進警告	OFF(★)／音声なし／警報音／音声警告	各警告のお知らせ方法を選択します。 ※ 警告音/音声警告の詳細は ☛ P.34 を参照ください。

※3：[OPバッテリー使用]は別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)を使用するときのみご選択ください。



＜ 5/6 ＞



＜ 6/6 ＞

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
後方異常接近記録	OFF(★) ／OFF・音声なし ／OFF・警告音 ／OFF・音声警告 ／ON・警告音 ／ON・音声警告	後方異常接近記録/警告のお知らせ方法を選択します。 ON：イベント記録(後方異常接近記録)します。 OFF：イベント記録(後方異常接近記録)しません。 ※ 警告音/音声警告の詳細は ☛ P.36 を参照ください。
フロント基準位置初期化 (☛ P.69)	—	フロント/リアカメラの基準位置を初期化します。 フロント基準位置は車線逸脱警告、前方車接近警告、前方車発進警告に使用され、リア基準位置は後方異常接近記録/警告に使用されます。 ※ 数分間走行することで基準位置は調整され、[未補正]⇒[補正済み]となります。
リア基準位置初期化 (☛ P.69)		
リアカメラ	正像(★)／鏡像	リアカメラで表示する映像を選択します。 ※ 記録映像は[正像]で固定になります。
日時	—	日付や時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でもGPSの日時情報が優先され、変更されます。
音量	OFF／20%／40%／60%(★)／80%／100%	本機の音量を選択します。 ※ 音量は操作音、録画開始/停止の音声、イベント記録開始の音、メッセージの音声、録画ファイルの再生音に反映されます。
画面自動オフ	30秒後(★)／3分後／5分後／常時ON	無操作で画面OFFする時間を選択します。 ※ [常時ON]では画面OFFしません。
SD初期化 (☛ P.70)	—	SDカードを初期化(フォーマット)します。 ※ 録画ファイルはすべて消去されます。
設定初期化	—	本機をご購入時の状態に戻します。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

基準位置初期化

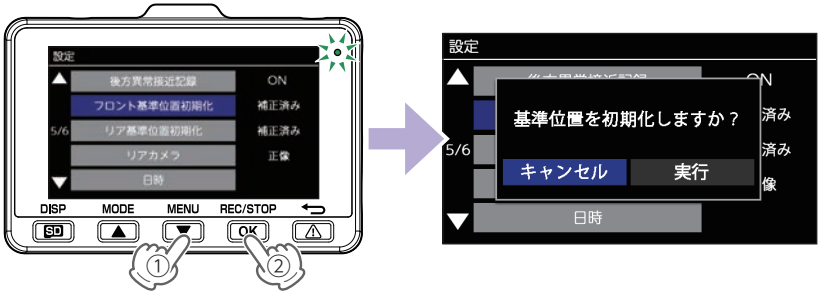
フロント/リアカメラの設置位置を変更、安全運転サポート機能が正常に動作しない場合に行ってください。

1. 基準位置初期化する

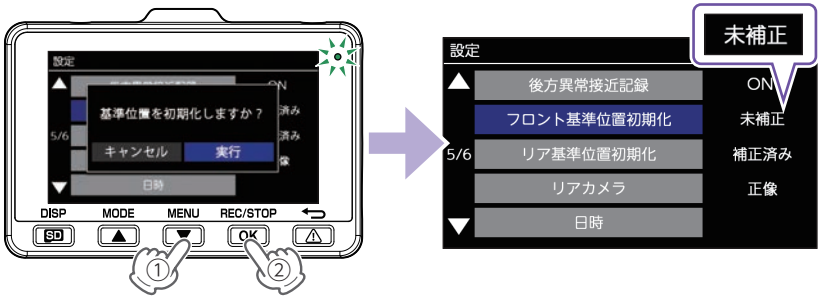
■ 例：フロントカメラの基準位置を初期化する

1-1 設定メニューを表示する（☛ P.64）

1-2 [フロント基準位置初期化]を選択し、OK ボタンを押す



1-3 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



初期化が完了すると、[未補正]になります。

1-4 数分間走行する

基準位置は調整され[補正済み]となります。

リアカメラの基準位置を初期化する場合は、手順「1-2」で[リア基準位置初期化]を選択してください。

SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、録画ファイルはすべて消去されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

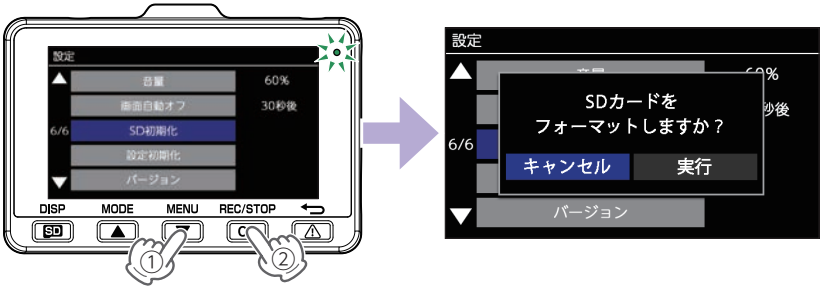
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

1. SDカードをフォーマットする

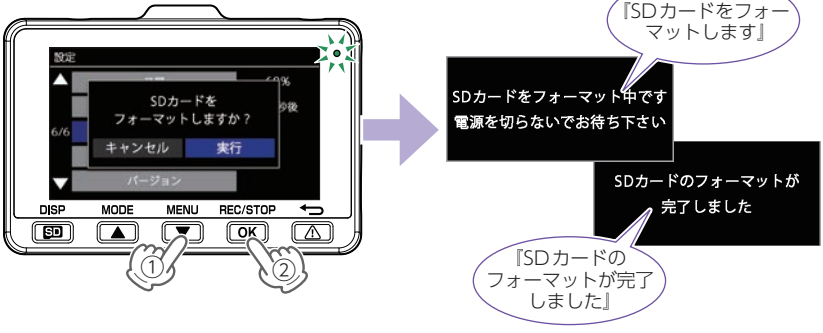
1-1 設定メニューを表示する(☛ P.64)

1-2 [SD初期化]を選択し、OKボタンを押す



フォーマット画面が表示されます。

1-3 [実行]を選択し、OKボタンを押す



完了後はいずれかのボタンを押してメッセージ表示を解除してください。

※「SDカードのフォーマットに失敗しました」と表示される場合は、☛ P.85をご確認ください。

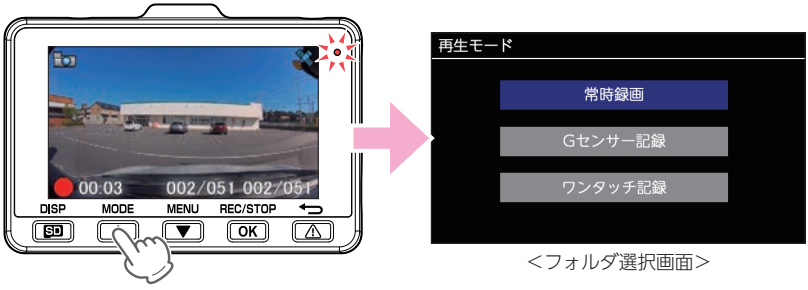
再生モードの表示・再生方法

※駐車監視モード(☛ P.26)中は、設定や再生を行うことはできません。[OK]ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

※省電力監視中は操作することができません。車両を始動(ACC ON)してから操作を行ってください。

1. 再生モードを表示する

1-1 動画記録モードで、[▲]ボタンを押す



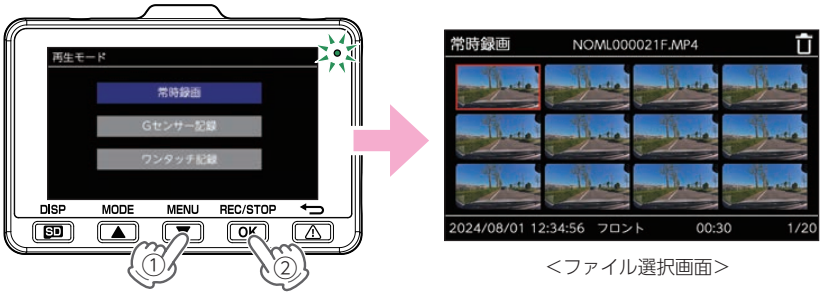
<フォルダ選択画面>

録画を停止し、再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

※常時録画(通常録画/タイムラプス/動体検知記録)、イベント記録(Gセンサー記録/後方異常接近記録)、ワンタッチ記録(ワンタッチ記録)

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 記録方法を選択し、[OK]ボタンを押す



<ファイル選択画面>

録画を停止し、再生モードのファイル選択画面を表示します。

※再生する録画ファイルがない場合、「ファイルがありません」と表示します。

2-2 録画ファイルを選択し、OKボタンを押す





＜再生画面＞

ファイル再生画面を表示し、録画ファイルを再生します。

※再生時のボタン操作は ☛ P.75「再生モード時にボタン機能」を参照ください。

※音量が[OFF]の場合は、音声は鳴りません。

「ファイル選択画面」または「再生画面」でSDボタンを押すとリアカメラの映像に切り替えることができます。

※フロントカメラの映像に戻す場合は、再度、SDボタンを押してください。



＜フロント＞

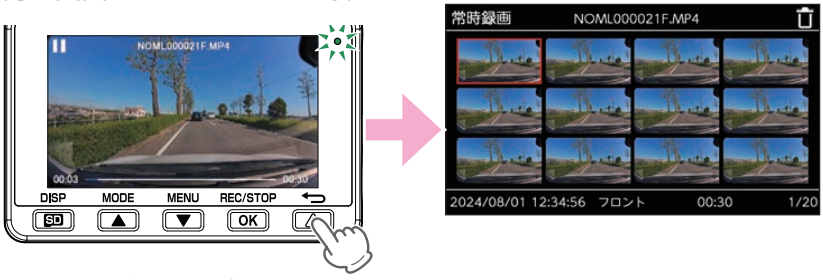


＜リア＞

3. 録画を再開する

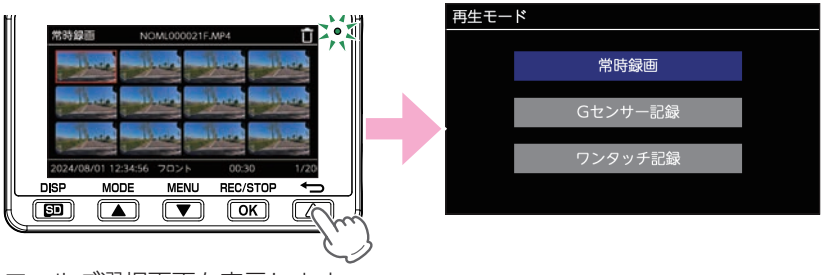
再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 再生画面で、⚠ボタンを押す



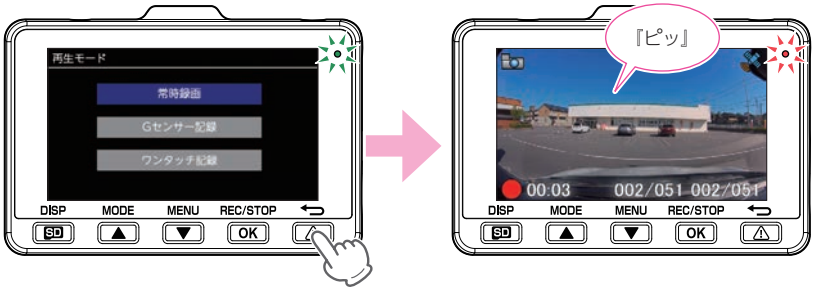
ファイル選択画面を表示します。

3-2 ⚠ボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。

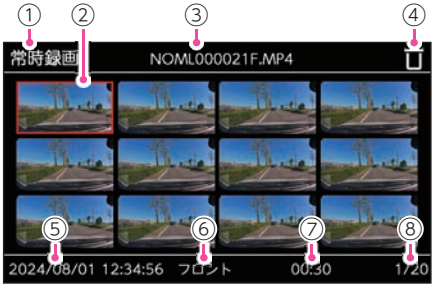
3-3 ⚠ボタンを押す



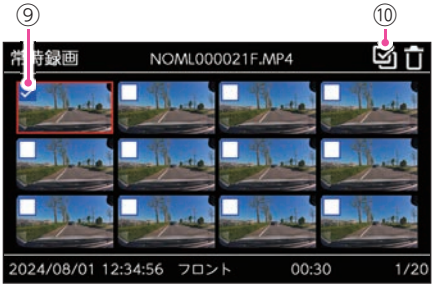
動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は ☛ P.71 を参照ください。



＜ファイル選択画面＞



＜ファイル選択画面(消去)＞



＜再生画面＞

No.	表示名	説　明
①	選択フォルダ名	選択中のフォルダ名を表示します。 常時録画：通常録画、タイムラプス、動体検知記録 Gセンサー記録：Gセンサー記録、後方異常接近記録 ワンタッチ記録：ワンタッチ記録
②	選択中ファイル	選択中の録画ファイルを赤枠で表示します。
③	ファイル名	選択中の録画ファイル名を表示します。(☛ P.83)
④	消去アイコン	選択した録画ファイルを消去します。(☛ P.76)
⑤	記録日時	選択中の録画ファイルの記録日時を表示します。
⑥	カメラ種類	選択中の録画ファイルのカメラ種類(フロント/リア)を表示します。
⑦	再生時間	選択中の録画ファイルの再生時間を表示します。
⑧	ページ番号/総ページ数	ページ数を表示します。 例 1/20：1(ページ番号)/20(総ページ数)
⑨	消去チェック	消去する録画ファイルに✓を表示します。

No.	表示名	説　明
⑩	全選択アイコン	すべての録画ファイルに✓を入れます。
⑪	動作アイコン	▷：再生中に表示します。 ▯▯：一時停止中に表示します。
⑫	再生時間（現在）	ファイルの現在再生時間を表示します
⑬	タイムライン	再生時間をタイムラインで表示します。
⑭	再生時間（全体）	ファイルの全体再生時間を表示します。

■ 再生モード時のボタン機能

ボタン	動　作		機　能
SD ボタン	選択時	短押し	フロントカメラとリアカメラの映像を切り替えます。
	再生時	短押し	
▲ ボタン	選択時	短押し	次の録画ファイルに移動します。
	再生時	短押し	
▼ ボタン	選択時	短押し	前の録画ファイルに移動します。
	再生時	短押し	
OK ボタン	選択時	短押し	録画ファイルを再生します。
	再生時	短押し	録画ファイルを再生/一時停止します。
⚠ ボタン	選択時	短押し	前の画面へ戻ります。
	再生時	短押し	

録画ファイルの消去

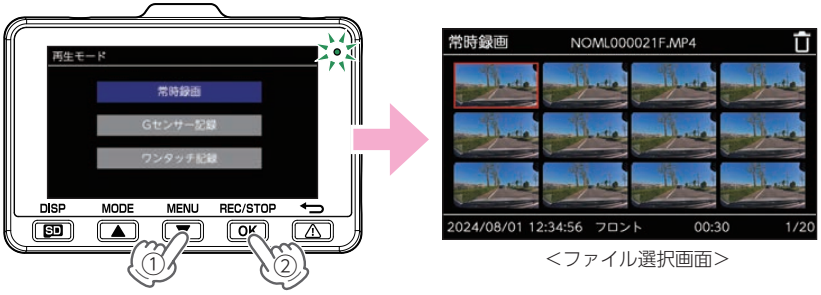
※フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを消去した場合、対になる録画ファイルも一緒に消去されます。あらかじめご了承ください。

※SDカード内の録画ファイルをすべて消去する場合は、SD初期化(フォーマット)を行ってください。(☛ P.12、70)

1. 録画ファイルを消去する

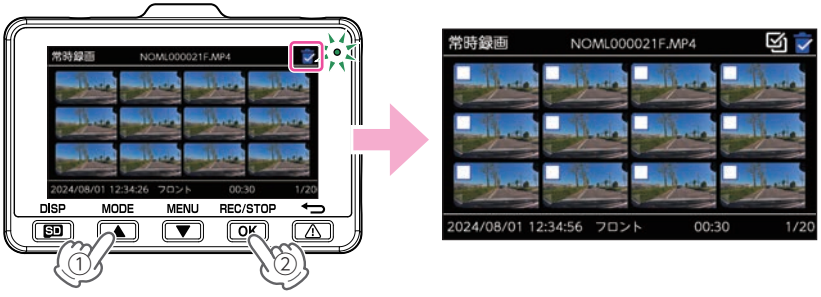
1-1 再生モードを表示する(☛ P.71)

1-2 消去したい録画ファイルがあるフォルダを選択し、OKボタンを押す



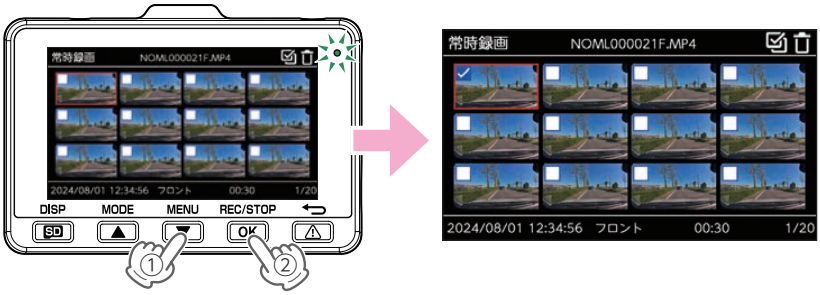
<ファイル選択画面>

1-3 画面右上の(消去)アイコンを選択し、OKボタンを押す



録画ファイルにチェックボックスが表示されます。

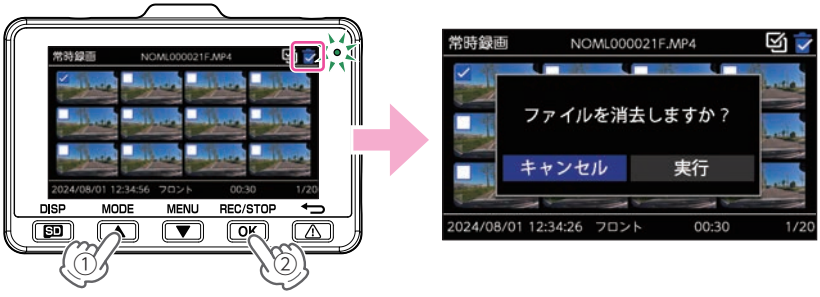
1-4 消去したい録画ファイルを選択し、 OK ボタンを押す



録画ファイルに✓が入ります。

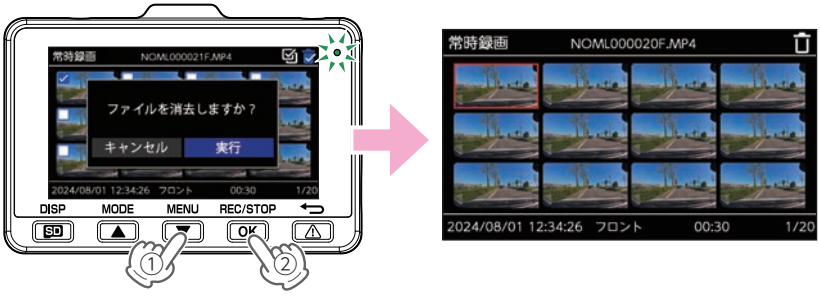
※フォルダ内すべての録画ファイルを選択する場合は、(全選択)アイコンを選択してすべての録画ファイルに✓を入れてください。

1-5 画面右上の (消去)アイコンを選択し、 OK ボタンを押す



「ファイルを消去しますか？」と表示されます。

1-6 [実行]を選択し、 OK ボタンを押す



「ファイル消去中です」と表示し選択した録画ファイルを消去します。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer DRY TypeK」をインストールすることにより、Googleマップと連動させて表示することができます。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_k.html)

	コーデック【H.264】	コーデック【H.265】
OS	Microsoft Windows 11(64bitのみ)、10(64bitのみ)	左記仕様に「H.265」のハードウェア動画再生支援機能を備えた仕様のパソコンが必要となります。 ※GPU外付けの場合は、ハードウェア動画再生支援機能に対応したGPUが必要です。
CPU	Intel Core i5相当、3.0GHz以上	
RAM	8GB 以上	

(2024年8月現在)

※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer DRY TypeK]アイコンをクリックする

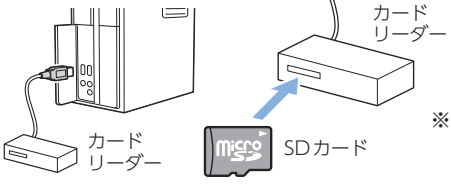


専用ビューアソフトが起動します。

※専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する

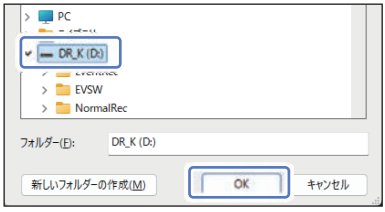


※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

3-2  をクリックする



3-3 接続したSDカードを選択し、[OK]をクリックする

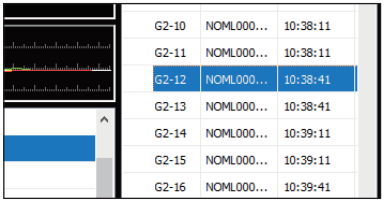


・フォルダ名について
(☛ P.83)

日付が古い録画ファイルから自動で再生します。
SDカードを選択すると、すべてのデータが選択され、録画開始から録画終了までのファイルを1つのグループとして専用ビューアソフトに表示されます。

※各フォルダを選択すると、各フォルダのデータのみが選択され、専用ビューアソフトに表示されます。

3-4 録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…
☛ P.80「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上(フロントカメラ側)の ✕ をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

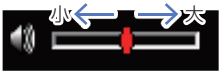
専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Ｇセンサーグラフ等を表示できます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



No.	表示名	説　明
①	フロントカメラ映像ウィンドウ	映像を表示します。 ダブルクリックで映像の全画面表示/プレーヤー内表示を切り替えます。 ※電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になることがありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。
②	リアカメラ映像ウィンドウ	
③	記録日時	記録した日時を表示します。
④	Ｇセンサーグラフ	映像ファイルに埋め込まれているＧセンサーデータをＸ軸、Ｙ軸、Ｚ軸でグラフ表示します。

No.	表示名	説　明	
⑤	グループ表示	選択グループのファイルをダブルクリックで再生開始します。 イベント記録があるグループにはアイコンを表示します。 (G:Gセンサー記録、M:ワンタッチ記録、G M:Gセンサー＋ワンタッチ記録) ① グループ：PCビューア内リストNo表示　G0･･･ ※ 録画開始から録画終了までを１つのグループとして表示します。 ② フロントカメラ解像度：3840×2160、2560×1440、1080P HD ③ 開始時間：年月日 記録開始時間を表示 ④ 時間：録画時間(秒) ⑤ ファイルサイズ：(MB)	
⑥	ファイルの読み込み	「フォルダーの選択」ウィンドウが開き、読み込みたいフォルダを選択します。	
	画像の保存	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGまたはPNGファイル)に変換して保存します。	
	ファイルのコピー	「グループ表示」グループ項目にて、チェックボックスにチェックを入れたグループの録画ファイルを一括コピーします。	
⑦	動画再生操作	再生 / 一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。
		停止	再生中の録画ファイルを停止します。
		再生速度を遅くする	クリック毎に0.3倍速～1.0倍速まで0.1倍ステップで変更できます。
		再生速度を速くする	クリック毎に1.0倍速～2.0倍速まで0.2倍ステップ、2.0倍速～4.0倍速まで0.4倍ステップで調整できます。
		 音量の調整	アイコンクリックで音声ミュートON( )/OFF( )を切り替えます。 バー ( )の左右操作で再生音声の音量を調整します。
⑧	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。	
⑨	ウィンドウサイズ変更	アイコンをクリックすることで、ウィンドウサイズを変更します。(大、中、小)	
⑩	プログラム	バージョン情報	ソフトウェアのバージョンを表示します。
		最小化	ウィンドウを最小化します。
		最大化	ウィンドウを最大化します。
		閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑪	地図表示ウィンドウ	読み込まれた映像はGoogleマップに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Googleマップ)は表示されません。	

No.	表示名	説　明
⑫	ファイル詳細表示	録画ファイルの詳細情報を表示します。 ファイル選択時、背景を反転(青色)表示します。選択ファイルをダブルクリックで再生します。 イベント記録にはアイコンを表示します。 (：Gセンサー記録、：ワンタッチ記録) ① ID：PCビューア内リストNo ② ファイル名 ③ ファイル単位の録画記録開始時間：表示形式：時：分：秒 ④ ファイル単位の録画記録終了時間：表示形式：時：分：秒 ⑤ ファイルサイズ：(MB) ⑥ ファイルパス：ファイルのパスを表示
⑬	タイムライン	クリック位置から再生できます。
⑭	 左右反転	リアカメラ映像を左右反転します。
	 連続再生	連続再生のON()/OFF()を切り替えます。
	 ログデータの出力	再生している動画のKMLデータファイルをドキュメント⇒PCViewer DRY TypeK⇒KMLフォルダ内に保存します。
	 地図表示の切り替え	地図表示のON/OFFを切り替えます。
	 Gセンサーグラフ表示の切り替え	Gセンサーグラフ表示のON/OFFを切り替えます。

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

	コーデック【H.264】	コーデック【H.265】
OS	Microsoft Windows 11(64bitのみ)、10(64bitのみ)	左記仕様に「H.265」のハードウェア動画再生支援機能を備えた仕様のパソコンが必要となります。 ※ GPU外付けの場合は、ハードウェア動画再生支援機能に対応したGPUが必要です。
CPU	Intel Core i5相当、3.0GHz以上	
RAM	8GB 以上	

(2024年8月現在)

※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

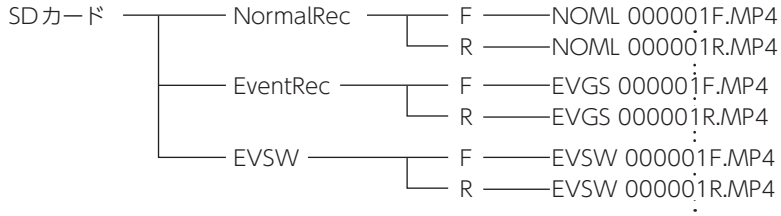
※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

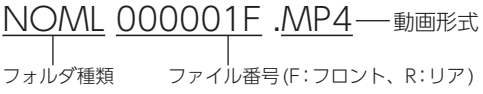
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。



■ ファイル名について

ファイル種類、ファイル番号ファイル名になります。



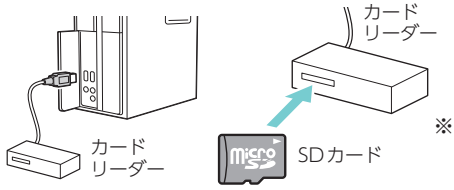
フォルダ種類		記録方法
NormalRec / NOML（常時録画）	F(フロントカメラ)	通常録画、タイムラプス、動体検知記録
EventRec / EVGS（イベント記録）	R(リアカメラ)	Gセンサー記録、後方異常接近記録
EVSW / EVSW（ワンタッチ記録）		ワンタッチ記録

1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

⚠ 注 意

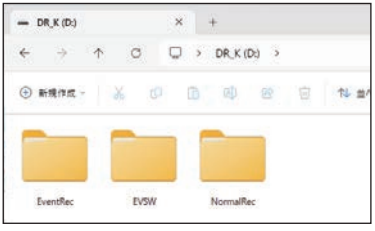
パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。その際は、本機でフォーマットを行ってください。(☛ P.12)

A-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



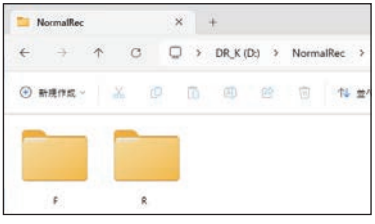
※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

A-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



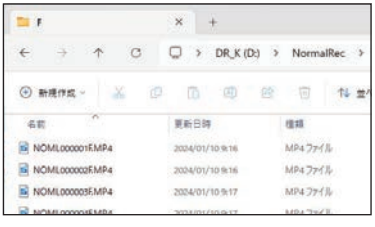
・フォルダ名について
(☛ P.83)

A-3 再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について
(☛ P.83)

A-4 録画ファイルをダブルクリックする

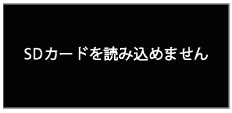
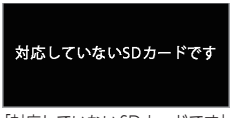
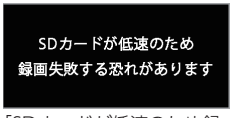
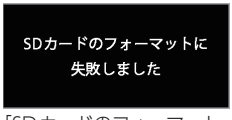


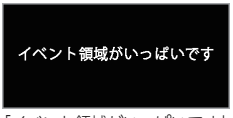
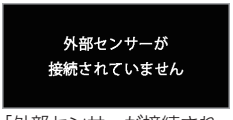
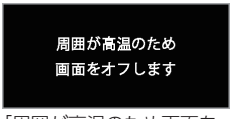
Windows標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音声/音でお知らせします。

※SDカードエラーが頻繁に出る場合は、新しいSDカードに交換してください。
※音量[OFF]では、音声によるお知らせをしません。あらかじめご了承ください。
※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

メッセージ	対処方法
「SDカードを挿入してください」	□ SDカードが挿入されていますか、または正しく挿入されていますか。(☛ P.18)
「SDカードエラー」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 □ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18) □ SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12) フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
「SDカードを読み込めません」	
「対応していないSDカードです」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上
「SDカードが低速のため録画失敗する恐れがあります」	
「SDカードのフォーマットに失敗しました」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 □ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18) □ 他の機器でSDカードを認識することができるか確認してください。

メッセージ	対処方法
「SDカードがいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。(☛ P.32) □ SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12) フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
「イベント領域がいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書き]に設定した場合、イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は(☛ P.66)で確認できます。
「外部センサーが接続されていません」	□ 別売品の外部センサー(OP-MDS1)を接続していますか。 ・接続している場合は、外部センサーの接続をご確認ください。 ・接続していない場合は、駐車監視モードを[外部センサー OFF]の方式に設定してください。(☛ P.66)
「周囲が高温のため画面をオフします」	□ 周囲が高温のとき、液晶ディスプレイを「オフ」します。周囲の温度が下がると液晶ディスプレイは「オン」になります。 画面自動オフ設定が[常時ON]以外に設定されている場合は周囲の温度が下がっても液晶ディスプレイは「オフ」のままになります。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。(☛ P.37)

映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18)

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない

□ 自動駐車モード切替は[OFF]になっていますか。(☛ P.66)

録画ファイルがない

□ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード[すべて上書き]のため上限に達すると上書きされます。(☛ P.32)

□ 各専用フォルダを確認してください。(☛ P.71、83)

□ フロントカメラまたはリアカメラの映像を消去していませんか。
本機で映像を消去した場合、もう一方の映像ファイルも一緒に消去されます。あらかじめご了承ください。

□ 本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。

イベント記録ファイルがない

□ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.71、83)

リアカメラの映像が映らない

□ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。(☛ P.46)
リアカメラが接続されているかアイコンで確認してください。



：接続時
：未接続時

音声によるお知らせをしない

□ 音量[OFF]になっていませんか。
音量[OFF]では音声や音によるお知らせをしません。音量を確認してください。(☛ P.68「音量」)

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

□ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

□ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

□ タイムラプスで録画していませんか。
タイムラプスで録画した場合、GPS/音声データが記録されないため、地図(Google マップ)は表示されません。

駐車監視モードへ移行しない/ 動作がおかしい

＜全般＞

□ 電源の接続方法は[バッテリー電源(+B)接続]ですか。(☛ P.48)
駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要です。

□ 自動駐車モード切替は[ON]になっていますか。(☛ P.66)

□ 車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。
(☛ P.67「検出電圧」)

＜マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)接続時＞

□ 電源コネクターは接続されていますか。(☛ P.54)

□ オフタイマー設定が「使用しない」、またはディップスイッチ4がOFFになっていませんか。(☛ P.53)
上記の設定では車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

□ オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。

＜接近検知マイクロ波センサー(OP-MDS1)接続時＞

□ 駐車監視モードは[外部センサー ON]のモードに設定されていますか。
(☛ P.66)

安全運転サポート機能が動作しない

＜全般＞

□ お知らせ方法がOFFになっていませんか。
初期値は[OFF]のためお知らせしません。設定をご確認ください。(☛ P.67)

□ 駐車監視モード中ではありませんか。
駐車監視モード中は安全運転サポート機能が無効になりお知らせしません。

□ フロント/リアの両カメラは推奨取り付け位置に取り付けてありますか。
(☛ P.39、40)

□ 基準位置初期化を行ってください。(☛ P.69)

＜前方車発進警告＞

□ 停車時に機能します。走行時は機能しません。

＜車線逸脱警告、前方車接近警告、後方異常接近記録/警告＞

□ GPSを測位した状態で機能します。GPS測位できない場合は機能しません。

□ 車両速度が時速50km/h以下の場合は機能しません。

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】88(幅)×61(高さ)×38(奥行)mm ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時94(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合) 【リア】58(幅)×25(直径)mm ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時35(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	【フロント】約152g (microSDカード含む) 【リア】約20g
記録媒体	microSDカード (32GB付属)　16GB ～ 128GB (Class10以上)
撮影素子	【フロント】4Kカラー CMOS　(STARVIS™技術搭載※2) 【リア】200万画素カラー CMOS　(STARVIS™技術搭載※2)
最大記録画角※1	【フロント】対角165°(水平137°、垂直82°) 【リア】対角160°(水平140°、垂直80°)
記録解像度	【フロント】最大820万画素 【リア】最大200万画素
	【フロント】4K(3840×2160)、1440P(2560×1440)、1080P(1920×1080) 【リア】1080P(1920×1080)
F値	【フロント】2.0 【リア】2.2
GPS	有
Gセンサー	有 (感度設定可能)
HDR	有 (フロント/リア)
最低被写体照度	【フロント】0.75LUX (ルクス) 【リア】0.5LUX (ルクス)
記録方式	常時録画(通常録画、タイムラプス) /イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>、後方異常接近記録) /駐車監視(タイムラプス、動体検知、Gセンサー記録)※3
録画ファイル構成	30秒単位、14分単位※4
画面サイズ	【フロント】3.0インチフルカラー TFT液晶
音声録音	ON / OFF 可能
フレームレート	28コマ/秒、1コマ/秒※4
映像ファイル形式	MP4
録画コーデック	H.264、H.265※5
記録映像 再生方法※6	・専用ビューアソフト「PC Viewer DRY TypeK」(弊社ホームページよりダウンロードできます) ・Windows標準の「映画＆テレビ」
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用
消費電力	12.5W(※省電力時0.048W)
動作温度範囲	－10℃～＋60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。また超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：駐車監視にはバッテリー電源(+B)接続(☛ P.48)、または別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)が必要です。(☛ P.17)

※4：タイムラプス中のみ。

※5：「H.265」の映像をパソコンで再生する場合は、「H.265」のハードウェア動画再生支援機能を備えた仕様のパソコンが必要となります。

※6：Microsoft Windows10、11(いずれも64bit)に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)	
入力電圧	DC12V（最大6A）
出力電圧	12V（1A）
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/4時間/6時間/12時間/無制限
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃（充電時：+5℃～+45℃）
外形寸法 (突起部除く)	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm
本体重量	約950g（内蔵電池含む）

別売品：接近検知マイクロ波センサー(OP-MDS1)		
電源電圧	DC5V(接続機器から給電)	
消費電流	平均約2mA (DC5V)	
マイクロ波センサー	適合技術基準	特定小電力無線局 移動体検知センサー
	センサータイプ	ドップラーセンサー
	発振周波数帯	K バンド24GHz 帯
使用温度範囲	－10℃ ～ ＋60℃	
外形寸法 (突起部除く)	40(幅)×19(高さ)×37(奥行) mm	
本体重量	約35g (付属品含まず)	

・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
・Google、Googleマップは、Google LLC の商標です。
・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
・「microSD™」、「microSDHC™」、「microSDXC™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
・本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。 patentlist.accessadvance.com

HEVC Advance™

・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSDカード対応一覧表

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC / microSDXCカード
容量	16GB ～ 128GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SDカード容量	通常録画			タイムラプス		
	28コマ/秒(28 FPS)			1コマ/秒(1 FPS)		
	フロントカメラ解像度					
	4K(3840×2160)(初期値)	1440P(2560×1440)	1080P(1920×1080)	4K(3840×2160)(初期値)	1440P(2560×1440)	1080P(1920×1080)
128GB	約164分	約268分	約296分	約76時間	約128時間	約140時間
64GB	約82分	約134分	約148分	約38時間	約64時間	約70時間
32GB(付属)	約41分	約67分	約74分	約19時間	約32時間	約35時間
16GB	約20分	約33分	約37分	約9時間	約16時間	約17時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。
※コーデックの設定(H.265/H.264)による録画可能時間の変化はありません。
※リアカメラの解像度は[1080P(1920×1080)]で固定です。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	フロントカメラ解像度		
	4K(3840×2160)(初期値)	1440P(2560×1440)	1080P(1920×1080)
128GB	約200件	約360件	約408件
64GB	約100件	約180件	約204件
32GB(付属)	約50件	約90件	約102件
16GB	約24件	約44件	約50件

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※コーデックの設定(H.265/H.264)による最大記録件数の変化はありません。
※リアカメラの解像度は[1080P(1920×1080)]で固定です。
※最大記録件数は、Gセンサー記録/後方異常接近記録/ワンタッチ記録を合わせた件数です。
※1件につき2ファイル(フロント+リア)移動した場合。
※SDカードによってファイル数が変化する場合があります。あらかじめご了承ください。